新京日日新聞
夕刊
五月十四日
發行所 新京日日新聞社
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 永越内之介

國防と財政調和に軍部と政府背馳

審議會での衝突注目さる 特に陸軍側强硬

【東京國通】審議會の中心議題となるべきものは嚢に同會開會に高橋藏相が非公式に披瀝したやうに國防と財政の調和にあるべきは識者の認むる所であるが軍部中殊に陸軍でも同樣な觀測を爲し寧ろ進んで積極的に之を待望しつゝある、然し乍ら高橋藏相及び政府の國防と財政の調和と云ふのは國防費を可及的に削減し、これを他の方に向け之に依つて所謂健全財政を確立せんとするものであるが、陸軍側の確信する國防財政の調和は國防は國策遂行の第一であるとの見地から必要なる國防費の最小限度は如何にしても之を補塡せねばならぬ、隨つて必要なる最小限度の國防費を必ず支出なし得る如く又之を支出する爲他方面に些かも影響を及ぼさぬ樣諸般の內政機構を調整するにあると爲すもので其本質は全く高橋藏相及び政府の思考する所と背馳するので審議會が現在の財政經濟政策を固執する限り審議會と陸軍との正面衝突は免れ難いものとして其成行は特に注視されてゐる

林陸相渡滿豫定と視察の目的大綱

【東京國通】林陸相は廿一日東京發大連上陸、奉天經由新京に入り、次でハルビン、大黑河を經てチチハルから洮南を經て錦州、熱河、山海關に入り更に新京に引返し吉會線沿線を經て北鮮經由十五、六日頃歸京の豫定であるが、陸相渡滿の目的は

一、軍隊の視察、慰問、激勵
一、在滿兵力檢討
一、滿洲國內の現狀認識
一、滿鐵改組、治外法權撤廢、附屬地行政權撤廢、課税權問題等に對する實狀認識及び之等諸問題に關する當路者との協議
一、移民方針の研究其他陸軍及び對滿事務局關係の諸問題に關する諸懸案の解決に資すべき凡有る觀察並に材料蒐集と共に現地機關の忌憚無き意見を求め對滿國策の急速なる實現を圖らんとするにある

隨行者と日程

林陸相はいよ〳〵來る二十一日東京發二十二日神戸出帆の吉林丸で滿蒙第一線の視察旅行の途に上るが隨行者は永田軍務局長、大城戸中佐、有本秘書官、對滿事務局岩畔、横溝兩書記官等で、商工省吉野次官も一行に加はるものとみられてゐる滯滿中の一行の旅程は次の通り

二十五日 大連上陸
二十六日 旅大視察
二十七日 新京着、八、九兩日滯京
三十日 牡丹江、ハルビン視察(飛行機)
卅一日 ハルビン滯在
六月一日 チ、ハル
二日 洮南、奉天(飛行機)
三日 奉天滯在
四日 承德(飛行機)
五日 奉天―公主嶺
六日 公主嶺―新京
七日 新京―延吉
八日 羅南

ハルハ事件會商 來る廿五日と決定

外蒙側より正式文書來る

(ハイラル國通至急報)ハルハ問題の滿蒙會商は急速に進展し、愈々來る廿五日會商受諾の正式文書が十三日外蒙側より到着した

國政第一線に聽く (四)

"夢の世界、原始の民" 興安高原の思出

國務院情報處映畫班 龜谷利一氏は語る

人材を集めた情報處で最も忙しく立ち働いてゐるのは映畫班の龜谷さんであらう、机の上には映畫の雜誌やら宴會の案內狀から閃光電球やらが雜然と置かれてゐる、來客にとりまかれ、若い處員に命令ししかもいとも雄辯に萬事をしやべりのけて行く、記者けふはひとつ何か仕事の上での思ひ出でも話して下さいと言へば氏はよし來たとばかりこれは「月刊滿洲」にも書いたんだが「明け行く西部滿洲」撮影の時の話をしやう、これは松竹の撮影班と一しよに行つたんだが一昨年の夏だ、ハイラルを起點としてガンチユール、ハンダガヤ、ハロンアルシヤン、パインホショ、アンパクル、チヤライノール、滿洲里等を巡つたのだつたコロンバイルの壯麗な天然の景色と夢の世界を思はせる蒙古民族の原始的な生活振りには全く魅了されたねガンチエル廟附近の平原地帶には馬、牛、羊等の放牧が行はれてゐるがそれは少いのでも二三千、多いのになると數萬を超えるんだそれらが悠々と水草を追つて放牧されてゐる、ガンチユルに行く途中にパインノールの天然鹽湖があるが、見渡す限り雪のやうに眞白な天然鹽なんだ、ガンチユルから南へ行くとハンダカヤでこの邊一帶は白砂青松まるで瀨戶內海を航行してるやうだつた、ゲヤンチユン廟から二十哩ほど行くと高原地帶に入る、向ふには興安嶺の大丘陵が墨繪のやうに橫はつてゐる、野原には鈴蘭、芍藥、野げしなど一面に咲き亂れてゐる、さういふ所で蒙達は太古以來苦惱や憂悶を知らぬやうな平和と幸福に包まれた部落民の歡迎を受けたよ、ハロンアルシヤンにつくと白雲頂を包む尚峰の麓だ、靈泉が滾々と湧いてゐる、靈泉は幾つかの溫度のに分れてゐて入浴出來る、時恰も六月下旬だつたが一日數回夕立がやつて來て非常に冷しく胴ぶるひする位だつた海拔二千尺位だから一種の靈氣があると思つたね、そこが僕達の旅の最后の目的地でもあつたが、僕達の感激も最も强かつた…氏の話は盡きぬ、こうした旅の仕事の間にも滿洲國のための優れた映畫をつくるために氏は熱をもやし心を傾けてゐたことであらう、この人の仕事に充分なる豫算を與へてその縱橫の才氣を振つてもらひたいものである氏は久しく新聞聯合に在り支那駐在員として活躍、事變とゝもに轉身した人である

政友內葛藤

明年總選擧に大分裂か

【東京國通】政友會望月圭介氏の內閣審議會入りは同氏の去就が各方面から注目されてゐたゞけに政友の

暗流

に重大な波紋を投げつけ今や同黨內の床次系及び舊政友派の首腦分子の脫退は時期の問題と一般に觀られるに至つた、即ち望月氏の除名をはじめ嚢に離黨せる秋田淸氏が袂を連ねこの內審入りに刺戟された黨內の床次系、舊政友系分子は到底此の儘在黨として黨內に止り得ずとし頻りに脫黨を急ぎ新黨樹立の旗擧げを焦慮しつゝある、然し乍ら之等諸勢力を率ゐる指導者たる地位にある者は今日直ちに政友會を脫黨するは大義名分立たず徐ろに明年の總選擧まで黨內に留り、外部と聯絡をとつて萬遺憾なき準備工作を行ひ總選擧に至り斷乎大量脫黨の擧に出で以て大政友會を根幹的分裂に導く方策を選ぶべしと爲してゐる、從つて今後內閣審議會の活動が開始され、調査局の參與專門委員等の任命が行はれるにつれ政友方面に相當の動搖影響を與へるであらうが被除名組の最高方針に

基き

床次系及び舊政友派は何れも當分靜觀主義を持續するものと觀られてゐる

波國ピ將軍逝去 ドイツ政局樂觀

【ベルリン十二日發國通】ピルスズキー將軍逝去の報道に接し、ドイツ政府は多大の衝擊を受けポーランド政府今後の外交政策に重大な懸念を示してゐる、ポーランド共和國建國當時以來の行掛りを顧みず、ヒトラー總統との間に不可侵條約を締結したのはピルスズキー將軍一流の外交方策に基くものと見られてゐるだけに同將軍の逝去で、ポーランド政府が再びフランス外務省の傀儡になる怖れが濃厚だがドイツ政府當局としてはドイツ、ポーランド兩國の親善關係は國際關係の本體に基く必然の結果であり、佛國政治家の方針で動かし得ないとの見解を表明し强いて樂觀を裝ふてゐる

日滿社會事業大會

六月十四、五兩日大連に開催 提携融和を目標に

滿洲社會事業協會(日本側)及び滿洲國中央社會事業聯合會共同主催の日滿社會事業大會は一昨年七月其の第一回大會を新京に於て

開催

したが今年第二回大會を六月十四、五兩日大連滿鐵協和會館に於て開く事となつた今年は滿洲國皇帝の御訪日の盛儀あり皇帝には其の際畏くも日本社會事業に對して金一封を御下賜あらせられて日本當事者を痛く感激せしめたが此の人道的社會事業を通じて日滿提携融和のガツチリしたスクラムを組むべく好機會であるので今回の大會には日本內地社會事業團體代表をも招く事となつた、而して滿洲國に於ける社會事業、慈善事業に類するものは極めて幼稚で最近漸く官廳方面に此の種機關の簇生を見つゝあるに過ぎず民間社會事業といつては單に地方の富豪が其の周圍に對して此の種の善行あつたに止まつてゐるので民心をしつかとつかみ且國民の情意を溫く通ずる社會事業思想を涵養する事は極めて必要な事である

爲め

當事者は大いに馬力をかけてゐる、因に今回大會の參加者は滿洲社會事業協會、滿洲中央社會事業聯合會、關東州廳、滿鐵、滿洲國、中央地方各團體、滿鐵沿線社會事業各團體、婦人團體等の代表約二百名である

松平駐英大使 七月歸朝の途に

引退說は信ぜられぬ

【ロンドン十三日發國通】松平大使は來る七月ロンドン出發歸國するに決定したが、同氏の歸朝は國際情報の報告と海軍問題その他今後の重要國際案件に對する打合せの爲で日本滯在は短期間なるものと觀られて居りロンドン會議は今後氏の活動に俟つ事大きい今日、傳へられる引退說の如きは到底信ぜられない、尙大使は來る六月パリに開催の歐洲大陸日本大使會議に出席する事になつてゐる

駐支白國公使來朝

(門司國通)駐支ベルギー公使ジユルス、エム、ギーローメー男爵は日本觀光の爲十三日門司入港の商船長安丸で來朝海路東上した

米艦隊大演習事故 艦隊司令部發表

【ホノルル十二日發國通】四月廿九日拂曉太平洋岸の根據地を進發して以來杳として消息を絕つてゐた米國海軍の精銳四十四隻は聯合艦隊旗艦ペンシルバニヤ號を先頭に十二日堂々眞珠灣に入港した、今回の大演習に於ては驅逐艦の衝突等多くの椿事があつたが右に就き聯合艦隊司令部は次の通り發表した

十二日拂曉眞珠灣入港に先立ち洋上に於て驅逐艦二隻は戰鬪演習中衝突し水兵一名は即死し、六名は負傷した、更に十一日航空母艦サラトガ號上の艦載機が艦上から進空する際プロペラにまき込まれ海上に墜落搭乘の飛行中尉イヤット氏は即死を遂げた

ポーランド陸相更迭

【ワルシヤワ十三日發國通】コビルスグキー陸相の後任としてカスプルチキー將軍が臨時陸相に任命された

八田副總裁來京

八田滿鐵副總裁は十四日午前八時五十分來京、理事公館に入つたが十五日飛行機で圖們方面へ向ふはず

銀行團一行 けふ哈爾賓から歸京

赴哈中のシンジケート銀行團一行は十四日午後三時着哈爾濱から引返し、同夜大和ホテルに於る財政部大臣の招宴に臨み、十五日は公主嶺往復、十六日飛行機で圖們に向ふ、なほ公主嶺往復は午前十時十分發、四時二十分歸着の豫定である

その日く

□ハルハ事件の交渉いよ〳〵二十五日から、兄弟喧嘩をしたまでのこと、笑つて握手するさ

□政友內部の葛藤、明年の總選擧を機に大爆發の氣配、土台が腐つて崩れなかつたのが不思議

□本社並に盛京時報主催マラソン大會に大連軍拓けゆく滿洲紹介に州內選手權の放棄出場

□スポーツマン精神須らくかくあるべきもの、主催者として感激をもつてこれを迎ふ

□目に嘗葉、自らの生を縮めて冥士へ急ぐ者あり、とまれ南無阿彌陀佛

人事往來

▲日高長太郎氏(本溪湖會社員)十三日午後來京名古屋ホテル投宿
▲古川喜久夫氏(東洋火災保險會社員)同
▲宮崎吉利氏(大連三井物產會社員)同
▲志津野眞二氏(神奈川縣會社員)同
▲石井正橘氏(豫備中將)十三日午後來京
▲張書翰氏(吉林省教育廳長)同
▲八田嘉明氏(滿鐵副總裁)十四日午前通過ハルビンへ
▲郡山理事(滿鐵)同
▲大淵三樹氏(滿鐵理事)同
▲杉本秘書(滿鐵)同
▲金學桂氏(ハルビン警察廳長)同
▲三谷淸氏(奉天省警務廳長)同奉天へ
▲白濱多次郎氏(大連會社員)十三日午後來京ヤマトホテル投宿
▲高橋德衞氏(東京會社員)同
▲川根次郎氏(平壤會社員)同
▲鷲山義直氏(奉天會社員)同十四日午後發南行
▲西川道夫氏(大阪西川會社長)同

團体

▲千葉縣派遣滿洲慰靈視察團四十名十四日午前九時二十分發ハルビンへ十六日午後三時引返來京同十時發南行
▲大阪市大正區小學校長團十一名十四日午前九時二十分發ハルビンへ十六日午後三時引返來京十七日吉林往復同午後四時發南行
▲神戸職跡彼我弔靈見學團二十名十四日午後七時二十五分來京旭ホテル投宿
▲名古屋荒川商店招待團二十五名十五日午後三時十分來京國都ホテル投宿十七日午前九時二十分發ハルビンへ十九日午後三時引返來京同四時發南行
▲日本紙業會社員二十五名十五日午前六時二十五分來京同十時發南行
▲旅順第二小學校七十名十五日午前六時四十分來京吉田屋新館投宿十六日午前七時十分發南行
▲大分工業學生六十一名十五日午前七時三十五分來京同日午後四時發南行
▲大連南山麓小學生百八十名十五日午後二時來京十六日午前十時十分發南行
▲帝國教育會北滿特別區分會視察團十名十五日午前六時四十分來京西村旅館投宿十六日午前九時二十分發ハルビンへ
▲佐世保市西海中學生十五名十五日午前六時四十分來京同日午後四時發南行
▲山口縣防府商業學生六十三名十五日午前七時三十五分來京同日午後八時發南行
▲鹿兒島師範學生七十四名十六日午前六時四十分來京同九時二十分發ハルビンへ十七日午後三時引返來京同時發南行
▲福岡縣粕屋郡滿鮮在營慰問團二十名十六日午前六時十分來京同日吉林往復、同日午後十一時發ハルビンへ十九日午後三時引返來京同四時發南行予定
▲奉天春日小學校二百二十名十六日午前七時三十五分來京北滿旅館投宿十七日吉林往復同日午後十時發南行
▲京都府滿洲派遣部隊慰問團十三名十六日午前六時二十五分來京名古屋ホテル投宿十七日吉林往復同日午後四時發南行

最後の切札八枚 (合作)

26 ……待遇(四) =誤解された純情= 若水絹子作

こんなことを考へてゐると球惠は、蘭子といふ從妹なんかの居ることを呪はしく默つて、フライパンでも投げつけたいやうな、苛々した荒んだ氣持ちになつてくるのだつた。

でも、かうして自分が料理を拵へたお料理が、永見の口に入つて、それを味はつてもらへるかと思ふと、自分の苛立つ氣持ちをじつと抑へなければならなかつた。漸く出來上つた料理を、球惠は、順序よく運んで行つた。

でも蘭子の分までも拵へてやらねばならぬと思ふと、彼女は、何となく何時もと違つて蘭子が憎らしく、默らせることのできるものなら、どうかして追ひ拂つてしまひたいやうな氣がした。

すると二階から蘭子が降りて來て、球惠の居る臺所へやつて來て、

『お姉さま、大變ネ？出來たらあたしが運びますわ』

と、さも親切のやうに口を出した。球惠は口惜いので、返辭もしなかつた。しかし蘭子には、それが少しも通じないやうに、呑氣な顏をして覗き込んでゐた。

球惠の拵へた料理を、そばから蘭子が運んで行つた。いつの間にか、球惠の役も手傳つてゐて、

『あの、お茶はわたしが運んでゆくから、あなたも行つて、ご一緒にお召りなさい』

と、云つて呉れたので、球惠は、料理ごしらへで汚れた手を洗つてから二階へ上つて行つた。

永見と蘭子とは、チキンソテイを食べてから、ライスカレーの皿を取りあげるところだつた。

『大變に結構です』

と、永見は、かう云つて球惠の顏を見た。

『いゝえ、ほんとに美味しくないでせう』

『いま、蘭子さんにさう云つてゐたのですが、食堂のライスカレーよりか、ずつと美味いですよ』

『まあ』

と、球惠は、謙遜して云つたが、蘭子のことは何を云つても自分を呼ぶ時は香川と云ふ苗字で呼ぶ永見の氣持ちに對して、何となく不滿を感じてゐたのだつた。

すると蘭子が、

『お姉さま、あたし永見さんとお約束しちやつたのよ、これから日曜毎にきつと家かお姉さまの所か來て下さることに……それから土曜日は、お姉さまとあたしとを活動へ伴れて行つて下さるんですつて、あたし、すつかり嬉んぢやつたの』

『さう、でもそんなお約束したりして永見さんは御迷惑よ』

と、球惠は、何故か泣き出したくなるやうな氣持ちを堪へて、かう云つたのだつたが、その心は、すつかり暗澹としてゐた。

三人であることは、昨夜と今日とでもう澤山だつた。これから一週間に二度も三度も蘭子と無邪氣との何時間かを過さねばならぬかと思ふと、球惠は、たまらないやうな氣持ちがした。

と、云つて、蘭子よりももつと積極的に行動して、永見の心をすつかり自分のものにしてしまふなどと云ふことは、球惠にはどうしても出來ないことだつた。もう永見とは五六回も會つてゐながら、手を握りもしなかつた。

祭禮を明日に死を急ぐ二人

極度の神經衰弱から巡査の妻拳銃自殺
止めに掛つた巡捕も重傷
昨夕刻水仙町の慘事

夏祭りを二日前にひかへ市内は準備にざわめいてゐる十三日午後五時頃新京水仙町警察官舍で血なまぐさい拳銃自殺があつた—新京署朝鮮人巡捕金興俔氏の妻鄭兒只(三二)十三日午後五時頃日頃懇意の仲である同じ官舍の朴泰換巡査の宅へ赴き

後事 を托すると共に夫の拳銃を口に擬したので朴巡査は「あつ危い」と駈け寄つた瞬間轟然一發拳銃を發射彈は鄭の口中から背胸部を貫き後から止めやうとして朴巡査の胸部に盲貫銃創を負はせ鄭は朴夫人の手厚い介抱も効なく鮮血に染つてこと切れ朴巡査は直ちに滿鐵醫院に入院加療中であるが生命には別條ない模樣である急報により新京署より柴野警務主任、飛田司法主任其他署員數名が現場に急行事情を詳細に調べて見ると金興俔巡捕は目下盲腸炎を患ひ滿鐵病院に入院中で十三日いよ〳〵手術をせねばならなくなつたが薄給のため蓄へもなく日頃神經衰弱であつた鄭は前後の事を考へると世の中が厭になり自殺を覺悟し午後五時頃病院から歸るとその足で日頃懇意な仲である

隣家 の朴巡査を訪れいろ〳〵と夫や家の後事をよろしく頼むと話かけるので朴夫妻は變に思つた瞬間隱し持ちたる夫の拳銃を口に擬したので朴巡査は「あつ危い!」と駈け寄つたが既に遲く彈は口中から胸部を貫き即死、止めに行つた朴巡査の胸部に盲貫銃創を負はせたものである、原因は强度の神經衰弱によるもので夫婦の間は至つて圓滿であつた

これも神經衰弱から福田商店の店員
服毒厭世自殺（未遂）

水仙町警察官舍で拳銃自殺があつた十三日午後七時頃市內富士町四丁目十二番地特產商福田商店々員本籍山口縣厚狹郡厚狹町生れ楠谷正雄(二二)が自宅三疊の部屋でカルブロミン錠三十錠入り五箱を嚥下し苦悶中を家人が發見直ちに同仁醫院に入院應急手當を加へたので生命はとりとめた原因は楠谷は若い者に似合ぬ實直な男で店でも可愛がつてゐたが數日前から神經衰弱でブラ〳〵遊んでゐたが活動がとても好きで家人に隱れてコツそり見に行つてゐたが或は活動から何かヒントを得て厭世自殺を計つたものらしいと家人は語つてゐる

京圖線事件被拉致者所在漸く判明す
討伐隊勇躍根據地に肉薄

【吉林國通】哈爾巴嶺事件の被拉致者は遭難以來杳として消息なくその運命は大いに氣遣はれてゐたが事件勃發以來二週間目の今日漸くその所在が推定されるに至り一縷の光明を見出された形である、卽ちその後各方面の情報を綜合するに被拉致者は九勝、張天良等共產系の匪賊に引ずられ鞭打たれつつ現場より東北方約二、三十里の能家地方(從來共產匪の巣窟として知られる)に到着、東北革命軍第一團の手に渡され嚴重なる監視下に置かれてゐることが推定されるに至つた、因つて討伐隊側では勇躍密林山岳の間を縫ふて包圍體形をとりつつ敵匪の根據地に肉薄中で生か死か最後的運命に直面せる匪賊は人質を解放して投降の外なかるべく日滿鮮十餘名の遭難者が討伐隊の手に救出されるのも遠からずと樂觀されてゐる

被拉致者の日本人死體發見

【吉林國通】哈爾巴嶺事件の被拉致者は能家地方(明月溝東北二、三十里)に於て共匪の監視下に生存してゐると推定されるに至つたが尙十三日現場より能家地方へ通ずる密林中に於て被拉致者と見られる一個の屍が横つてゐるのを討伐隊により發見された右は當日の二等乘客の日本人らしく歲は四十前後と推察されるが、虐殺された形跡なく疲勞甚だしく引立てられて行く途中横死したものらしく屍は明月溝憲兵隊に於て假埋葬に附し身許姓名調査中である

ショーウヰンドウ競技會審査委員決定

既報、第五回ショーウヰンドウ裝飾競技大會は來る二十四日から五日間電氣協會の主催で行はれるが裝飾競技の審査員は左の如く決定した

一、國都建設局技術所長兼建築課長　近藤安吉氏
一、滿鐵新京地方事務所勸業係長　伊藤彌吉氏
一、新京高等女學校教諭　山本芳知氏
一、廣島縣產業獎勵館新京駐在員　永海淸太郎氏
一、滿洲電業股份有限公司業務部普及係　國部秀美氏
一、新京電業局營業課長　山口本生氏
一、新京特別市商會　齊敬氏
一、頭道溝商務總會坐辦　孫化南氏
一、滿洲電氣協會　高橋仁一氏
一、同　榮隈榮氏

根城にすり專門の大ものであつた

驛調辨所員の密輸發見

列車關係者の密輸入はしばしば報じた處であるが又々十四日午前六時四十分着列車が新京驛に到着と同時に山東省海陽縣生れ新京驛地下室調辨所内葉酒德(二八)が食堂車から絹布十五疋價格約百圓、ウヰスキー九本をとり出し驛玄關で馬車を拾つてまさに市内へ持運ばんとしてゐるのを驛詰忠末巡査が發見、とり調べの結果右の始末が判明沒收せられた

京城の詐欺犯人捕はる

本籍廣島縣高田郡生れ現住所石碑嶺炭礦附屬地佐々木了(四二)は朝鮮京城に於て一口一千四百五十圓、一口二百五十圓合計一千七百圓を詐取して來京何喰はぬ顏で前記住所に潜伏中を朝鮮よりの手配により新京領事館署谷口、城口兩刑事が十三日午後一時頃踏み込み難なく逮捕した

十六日から十日間水道の大掃除
どうぞ斷水箇所に御用心!

新京地方事務所では恒例の水道洗管を來る十六日から開始昨年までは水不足のため思ひ切つた大掃除は出來なかつたが今年は出來るだけ徹底したい意響で洗管中場所によつては斷水を見ることにならうから豫め御諒承願ひたいと水道係ではいつてゐる、洗管豫定日割は左の通りである

洗管豫定日割

△十六日(自午後一時至同三時)住吉町一圓(洗管中斷水)
△一七日(自午後一時至同三時)春日町及東八條より東十條に至る間(同上)
△一八日(自午後一時至同三時)日之出町富士町三笠町の六、七、八丁目
△二十日(自午後一時至同三時)吉野町、祝町の六、七八丁目
△二一日(自午後一時至同三時)高砂町の一、二、三、四、五丁目
△二二日(自午後一〇時至午前一時)曙町、入船町の一、二丁目(洗管中斷水)
△二三日(自午後一時至同三時)朝日通、老松町、永樂町、梅ケ枝町、一圓(但し除朝日通一部、梅ケ枝町三四丁目(同上)
△二四日(自午後一時至同三時)朝日通の一部梅、ケ枝町三、四丁目
△二五日(自午後一時至同三時)白菊町四、五丁目
△二七日(自午後九時至同一一時)東五條通

第十四回彩票頭彩一二三七五三號
一、二、三彩新京心配御無用

第十四回福民奬券は十四日開彩されたが、當籤番號は左の通りである

頭彩　一二三七五三
代賣人甲　奉天程俊鵬
乙　奉天玉寶廷

二彩　六五二一〇
代賣人甲　大連高文郎
乙　吉林單殿臣

三彩　五二一五
代賣人甲　大連王吉辰
乙　奉天程俊鵬

四彩
八、五八九　一四、四一六
四七、七二一　一、八九三
二三、三一一　一〇、一一五
三六、九五〇　一〇、〇四三
一、六四〇　四、二九八
二九、九三二　七六
四〇、四六四　四七、六六五
二二、六〇七　三五、〇八三
一四、五八一　三、〇〇七
三一、五〇二　三一、三八七
四、七四〇　四四、六〇七
二七、二四七

五彩（四十八本）
一五、七〇五　二〇九
三八、二二二　二六、八〇八
三九、七八六　七、〇四二
二〇、八七三　一一、一九五
三四、一九八　一九、六二二
一四、四〇二　二九、二二一
四二、一七〇　三八、七〇七
四六、七六五　一七、〇三六
六、二七四　九四〇
一八、四〇六　一三、六五〇
九、八九八　一一、五四一
二〇、〇一六　四六、三六九
三、六〇一　四九、三三四
三一、九九六　三九、六七〇
三二、九一一　六、〇三二
四二、四一二　七、七三一
二九、七四三　三一、一八九
二一、六九九　四、六六九
三〇、六六一　三八、三五六
一一、三〇九　二、二四七
七、七四四　五、〇〇六
四六、九一六　一六、四一七
一〇、八一八　七、七一九
二六、二〇二　一八、三六二

スリ現行犯逮捕

十四日午前八時二十分ごろ伊通縣孤楡樹趙家屯朝鮮人農業金成禎(五〇)が新京驛三等出札口で乘車券を買はふとしてゐる際人ごみを奇貨に朝鮮服上衣ポケツトにあつた在中金三十圓七十五錢の蟇口をすり取られたので直ちに格鬪の上現行犯人を逮捕、驛詰派出所に渡したが右は奉天省新民縣生れの新京城内馬號門張輔臣(三七)とて三等待合室を

妓女と貴公子に化け反滿探偵入滿
既に山海關突破の報

最近某機關の調査せる情報によれば中國々民黨救國會は華北軍部及中央軍官學校と聯絡し多額の資金を調達し中央軍官學校附屬探偵部學生群支男女學生の中より成績優秀なるものを選拔し反滿抗日混合隊を組織し女子は全部妓女に男子は上流貴公子に扮裝して入滿、日滿軍隊の機密を探り反滿日宣傳をなすべく計畫の下にその一隊は既に山海關を突破して入滿奉天新京方面に向つたものの如くである

御訪日を記念しあす市民慶祝大會
式次第其の他全く決定

御訪日記念市民慶祝大會は特別市公署主催の下にいよ〳〵十五日午前九時から大同廣場で盛大に擧行されるが當日の式順その他は左の通り確定した

一、開會之辭△國旗揭揚奏樂裡に敬禮△詔書捧讀△市長祝辭△捧呈の賀表決議△日本に對する感謝決議△祝辭△日滿交驩歌合唱△萬歲三唱△御訪日体操△閉會の辭

二、旗行列△順序—軍樂隊—軍隊—各中小學校—官吏—各法團—一般市民大同大街より自强街に出で大經路より二馬路、三馬路、大馬路六馬路、長通路を經て宮內府前に至る

一、演劇映畫、午後一時から九時まで民政部前廣場で開散

一、慶祝講演ならびに映畫供覽十四日午後六時から新民戲院で協和會視察團員一名訪日記者一名、童子團員一名が講演を行ふ

州外野球聯盟滿洲野球聯盟と改稱
日滿をうつて一丸に

全滿野球界の統制機關として昨年から州内外並に滿洲國を合し滿洲野球聯盟組織の氣運が濃厚となつてゐたが大連滿俱の頑强な主張から意見が一致されずそのまゝとなつてゐたところ十三日州内を除く各地の監督主將が撫順に集合し從來の州外大會打合せを兼ね同問題につき協議を行つた結果從來の洲外聯盟を解散し洲外並に滿洲國を含み滿洲野球聯盟を組織することに決した具体案は洲外大會終了後正式に發表されるが會長には長岡廳長を推す模樣である同聯盟は滿洲球界の最高權威で聯盟より審判協會も生れ完全な統制をはかることになる

猛練習開始

既報電業チームの全新京合体で兩者の暗雲は一掃されたので兩チームの幹部は十四日正午からヤマトホテルに集合し解決の經緯を述べ且つ今後における全新京軍の發展につき打合せを行ふた、終つて兩軍選手集合し懇親會を開催し十五日から兩選手揃つて一丸となり州外大會並に都市對抗目指して猛練習を行ふことになつた

街の日記
牛乳の値上　一合八錢となる

新京には牛乳を配給する牧場が二軒、加藤牧場と三宅牧場で、それであるが先頃から飼料が約三割、乳牛それ自體が五割、人件費生活費が約三割昂騰したので現在の賣値一合金七錢では到底採算がたゝぬと云ふので新京署へ値上認可を申請中であつたが、調査の結果、他地とも比較研究、やむを得ぬものと認め値上げが許可された新規値段は

全乳　一合　金八錢
脫脂乳　同　錢八錢
クリーム　同　金八十錢
全乳一本　以上　金六十錢

大每原田記者結婚

大阪每日新聞記者原田稔氏は田邊治直、樽崎觀一兩氏の媒妁で山田尙子孃と婚約整ひ來る大日新京神社で結婚式を擧げる

亞細亞會館開店

市内カフエー精養軒の支配人として多年勤續してゐた尾崎忠氏は今回東二條通元メトロ跡を引きうけ内外を改裝し名も「亞細亞會館」と改め十三日より華々しく開店したが同日午後八時(定刻より一時間遲る)より市内の同業者其他を招き盛大な披露宴を張つた

金龍洋行の遊覽飛行賣出し

永樂町金龍洋行帝都遊覽飛行招待券附賣出しの當選者十八名は十三日午前十時から十二時の間三回に分つて一回十二分間づゝ新京上空を飛翔遊覽飛行を行つた

けふの銀相場

國幣對金票　一〇四圓三〇錢
鈔票對金票　一三一圓二〇錢
國幣對鈔票　八一圓五錢
現大洋對鈔票　一三〇圓〇〇錢

あす十五日が最後の競馬

新京賽馬俱樂部の春競馬は一日を殘して雨のため中止されてゐるが、今日から明日にかけて降りさへしなければ明日擧行のことゝなつてゐる、恰も新京神社の春祭りではあり滿洲國皇帝御訪日記念慶祝大會はあり一段の賑かさを加へることであらう

州外野球大會日割決定

州外野球大會は十三日撫順で行はれた、監督會議で左の如く決定した試合は二日正午入場式同一時から開始される

▲二日午後一時ハルビン對安東同日午後四時新京對鞍山
▲三日午後一時四平街對奉天實業同日午後四時奉天滿俱對撫順
▲四日準決勝五日優勝戰である

阿野機ブラッセル發

【ブラッセル十三日發國通】故國歸還飛行の阿野機は機体の修理を終へ十三日午後四時ブラッセル發ニユーレンベヒに向つた

チヤツプリン日本に別莊を造る

【東京國通】十三日横濱入港の秩父丸でチヤツプリンの秘書高野氏は夫人令孃同伴歸來したが、高野氏は語る

チヤツプリンが日本のどこか風景のよい所に別莊を造りたいと云ふのでその下檢分にやつて來ました、茅ケ崎か鎌倉方面に良い所があればよいと考へてゐる、チヤツプリンも最近行詰り遂に兜を脫いでトーキーを撮ることになり、又東洋へ出かけて來る筈です

仙人掌

夜十二時過ぎての電話、それは極りきつて醉つ拂ひの料亭カフエーと間違えてかけて來る電話でいづこの家庭でも迷惑千萬な話し▲チリン〳〵「カフエー世界ですか」「いゝえこちらは火葬場ですよ」ともいえず「運ひますよ」といへば「まご〳〵せずに引つこめ」等の言葉をきくことが少くない每夜十二時から一時ごろになると二度三度「きよ子さんを呼んで下さい」とか「カフエー世界ですかとも子さんを呼んで下さい」と決つて起される▲きよ子さんもとも子さんもまだ見たことのない電話被害者の一人だがお二人とも相當賣つ子と見える▲少し人の迷惑も考へ可愛い彼女のゐるカフエー世界、よつく覺えておきなはれ世界は六九三六番だつせ……投書そのまゝ

明日の天氣　北西の風曇後晴
日の出　午前四時十七分
日の八　午後六時十七分
月の出　午後三時五十一分
月の八　午前二時六分
けふの氣温　最高　十八度　最低　七度九

新撰爆笑隊（禁上映上演）

辰野九紫作 永田八浦關英太朗畫

現代篇 八四 ジャンダーク 綾子（七）

大變な騷ぎで、流石の彼女も直戰に陷つて呆然としたが、何と思つたか、案の席に歸戾るや、

「あんた、上衣をぬいで頂戴、

——」

「と、どうするんだい」

「何でもいゝから、早くさ、ぐづ〱してると叱るわよ」

慶吉がへどもどしてゐるのを、委細構はずはぎ取つて自分の洋裝の上に羽織り、彼の仲折帽子をひつたくると、それを彼女の斷髮に冠せて、再ひスタンドの前列にやつてきた。

「どう？これなら文句ないでせう」

誰彥の妙案に彼女の男裝はやんやと迎へられ、場內整理は苦笑して引退つた。寫眞屋大快びである。

「うむ、こりや益々痛快々々」

「いよう、ジャンダーク！オルレアンの少女……」

「ははは、少女はへんだね」

「つまらない揚足をとるない」

囂々喧々たる中に、彼女はいつの間にか敢然として應援の一隊を指揮する身分に昇進してゐた。

「さあ、陸の王者——もう一回活潑に……」

上衣をはがれたワイシャツ姿に彼女の夫たること一目瞭然たる無帽子の慶坂は、身も心もおき所ない程小さく縮こまつて、もうどつちが勝つてもいゝから、一刻も早くこの氣恥しい想ひを逃れようと焦つたが試合はその後何回進んでも兩軍共に得點なし。遂に日沒に迫つて、無勝負が宣告された。

全國の視聽を鍾めた野球爭霸戰の初日がこれだから、熱狂しきつた双方應援團の歡聲は外苑球場の天地を物凄いばかりに震駭させた——試中、おひつめられた土壇場で、危く體をかはして逆襲した慶應側には、禮儀正しく彼女に握手を求める紳士もあれば、感極まつた演說口調で彼女禮讚を試みる熱血兒もあつた。

「諸君！彼女は正にわが三田の頽勢を挽回したジャンダークであります。吾人は彼女の本日の勞を謝すると共に、今後の熱烈なる應援を期待する意味に於て、一齊に拍手して敬意を表さうではありませんか」

「贊成！大いにやるべしつ……」

「宜しいですか、諸君——僕のやる通り拍手して下さい……」

女神に拍手……

パチ〱 パチ〱

パチ〱 パチ〱

モガさんに拍手……

パチ〱 パチ！

パチ〱 パチ！

拍手拍手、ジャンダーク！

うわア……

鳴り物も止まぬ中で、彼女は英雄的態度を以て群集に答禮しながらも、尙且、スポーツ的精神を忘れなかつた。

「有難う——フレー、フレー、フレー、慶應オ……」

「フレー、フレー、慶應オ…」

「それから——フレー、フレー早稻田ア……」

「フレー、フレー、早稻田ア」

「もう一つ、最後に——フレーフレー、ワキザカ……」

熱狂しきつてゐる彌次馬は、そんな選手の有無を考へる余裕もなく、リードされる通りに

「フレー、フレーワキザカ…」

と景氣よく相和したが、恐縮そのものだつたのは、彼女の良人脇坂慶吉らしい。

「オイ、綾ちゃん——いゝ加減にして歸らう。」

女神に拍手 パチパチパチ

モガサンに拍手

ラヂオ

十五日（水曜） 新京

午前之部

六、〇〇 ラヂオ體操（滿語）
六、一五 ラヂオ體操（大連）
引續き 入港船の御知らせ（大連）
六、三〇 初等滿語講座（大連） 講師 秩父固太郎
七、〇〇 初等日語講座（奉天） 講師 近藤喜助
七、二二 朝の音樂（大連）
八、三〇 經濟市況（東京）
九、〇〇 國民慶祝大會實況 —大同廣場式場より中繼—
一〇、四〇 經濟市況（東京）
一〇、五九 時報（東京）
一一、〇一 經濟市況（東京及大連）
一一、四〇 ニュース（東京）

午後之部

〇、〇一 經濟市況（大連、引續新京）
〇、三〇 ニュース
〇、四〇 ニュース（滿語）
〇、五〇 演藝（レコード）（滿語）
二、〇〇 經濟市況（大連）
二、二〇 成人講座（滿語）（哈爾濱）
人生衣食住之清潔化 哈爾濱特別市公署 李東園
二、四〇 日用品値段（滿語）
二、五〇 經濟市況（東京）
三、〇〇 ニュース（東京）
三、三〇 經濟市況（大連、引續新京）
三、五〇 ニュース
四、三〇 ニュース（鮮語）
四、四〇 演藝（鮮語）
四、五〇 ニュース（英語）
五、〇〇 子供の時間（大連）
花の國をたづねて（植物採集） 大連大正尋常小學校兒童 教師 藤原不二夫 生徒A 原口憲博 生徒B 杉浦滿 生徒C 宮地和子 指導 藤原先生
五、二五 氣象通報、番組豫告
六、〇〇 ニュース（東京）
六、三〇 講演 詔書之意義與國民之覺悟 協和會理事長 實業部大臣 張燕卿 通譯 協和會中央事務局社會科長 小川增雄
七、〇〇 謠曲（東京） 加茂 觀世左近
—帝國ホテル演藝場より中繼—
七、二〇 講談 和合の盃 一龍齋貞山
七、四五 ヴアイオリン獨奏 エフレム、ジンバリスト ピアノ伴奏 トデ、ザイデンベルグ
(イ)序奏とタランテラ サラサーテ作曲
(ロ)夜想曲 ショパン作曲 ヴイルヘルム編曲
(ハ)熊蜂の飛行 リムスキーコルサコフ作曲 ハルトマン編曲
(ニ)カルメン幻想曲 ビゼー原作サラサーテ作曲
八、一〇 清元 能色相圖（神田祭）
淨瑠璃 清元梅壽太夫
同 清元梅代太夫
同 清元梅王太夫
同 清元梅香太夫
三味線 清元梅吉
同 清元梅助
上調子 清元梅丸
八、三〇 時報、ニュース（東京）
引續き ニュース
八、四五 ニュース、經濟市況 氣象通報、番組豫告（滿語）

慶祝大會記念の夕

九、〇〇 相聲 慶萬壽 杜元善 鋼玉鳳
九、二〇 雅樂（奉天） 奉天孔學會雅樂班 指揮 周潔枕
一、樂章（得勝令）（管樂）
二、武聖佛（管樂）
三、双鳳舞（絃樂）
九、四〇 滿洲古樂「箏獨奏」（哈爾濱） 張鶴鳴
一、八仙慶壽
二、普天同慶
三、鳳祥閣
四、隱士高閒
一〇、〇〇 北滿の時間（露語）（哈爾濱）
一、講演
ウエ、ウエ、ルイチコフ 皇帝陛下に榮光あれ
二、レコード 滿洲國國歌
三、ラヂオニュース

ラヂオ無料診斷 滿洲ラヂオ普及株式會社新京營業所 電六三三九三番

居住消息

▲片倉渡氏（宮城縣）四平街から白菊町三丁目八號ノ三へ
▲柴田良助氏（秋田縣）大連から和泉町三丁目黑水寮へ
▲千葉留治氏（北海道）敷島通り三號ノ九へ

轉居

▲鈴木仁助氏高砂町から吉野町一丁目五番地へ
▲林德二氏吉野町から寧安へ
▲吉岡義太郎氏和泉町から常盤町三丁目十一號ノ二へ
▲千葉善二氏櫻木寮から敷島通り三號ノ九へ
▲吉田市郎氏日本橋通りからハルビンへ
▲平田龜次郎氏祝町から永樂町三丁目七番地へ
▲黑澤喜代治氏露月町から大屯驛へ
▲西島寅之助氏日本橋通りから富士町三丁目十四號ノ二へ
▲酒井大藏氏平安町から露月町二丁目四十號ノ十へ

出生

▲岡忠助氏（曙町二丁目十番地の三）女愛子さん八日出生
▲辰巳久吉氏（富士町四丁目二十二番地の二）三男久信さん三日出生
▲多久島源治氏（富士町五丁目四番地）次男精治さん六日出生

死亡

▲森田省三氏（高砂町四丁目五番地）十二日午後一時死亡

五月十五日 水曜 辛卯 佛滅 開 壁宿 舊四月十三日

●一白の人 眞面目にして外を飾らず內に勵めば大吉日 庚と辛と丑が吉
●二黑の人 樂の道を撰みても知らず識らず苦に陷る日 甲と庚と辛が吉
●三碧の人 働きを目上に認めらるゝ日奮勵一番宜るな 乙と丁と癸が吉
●四綠の人 氣のみ忙しくして結果は却て面白からぬ日 庚と辛と癸が吉
●五黃の人 分を守り過大の事を企てずば無事たるべし 甲と卯と辛が吉
●六白の人 堅く本分を守り慣れぬ事には手を出す勿れ 庚と辛と壬が吉
●七赤の人 自ら抑ても我意の募りて失敗に陷り易き日 乙と丙と庚が吉
●八白の人 案外元氣付けども尻を締めざれば後患あり 庚と辛と丑が吉
●九紫の人 努力すれば無理な仕事まで仕遂げらるべし 乙と丁と癸が吉

チリーが日本へ 沃度販賣で呼び掛く
販賣協定加盟方要望

【東京國通】日本化學工業の急速なる進步發達によつて沃度の如きも完全に輸入國から輸出國へと轉向した、これが爲世界沃度の一手販賣會社であるチリー硝石會社と日本品との販賣競爭を惹起しつゝある爲市價は低落の一途を辿り今回チリー硝石會社では日本に對し沃度の販賣協定加盟方を申込んで來た、日本當業者は目下これが對策に就き協議中であるが、輸出が一定限度乃至地域的に制限される懸念がある爲當業者としても俄かに態度を決定しかねる事情にある、然し今後沃度の市價如何に依つて決定するものと觀られる

國際決濟銀行事業成績
本年度は六分配か

【バーゲル十二日發國通】國際決濟銀行一九三四、五年度會計年度は十二日を以て終了し十三日より株式總會が擧行されるが、既にバーゲルには歐洲各國は勿論日本からも代表銀行家が乘込み總數四十餘名が乘込み非常な賑ひを呈してゐる、現會計年度に於ける國際決濟銀行諸事業成績は極めて良好で八十七萬一千ポンドに及ぶ利潤を擧げ六分の配當がある筈である

四月中に於る
新京組合銀行預金貸出狀況

四月中における新京組合銀行の預金貸出狀況は次の通り

△金票勘定(單位圓)

項目	金額
預金	[illegible]
鮮銀	[illegible]
正金	[illegible]
中銀支行	[illegible]
滿銀	[illegible]
正隆	[illegible]
新京	[illegible]
東拓	[illegible]
中銀總行	[illegible]
計	[illegible]
前年同期	[illegible]
貸出	[illegible]
鮮銀	[illegible]
正金	[illegible]
中銀支行	[illegible]
滿銀	[illegible]
正隆	[illegible]
新京	[illegible]
東拓	[illegible]
東省實業	[illegible]
中銀總行	[illegible]
計	[illegible]
前年同期	[illegible]

△國幣勘定

項目	金額
預金	[illegible]
中銀總行	[illegible]
鮮銀	[illegible]
正金	[illegible]
中銀支行	[illegible]
滿銀	[illegible]
正隆	[illegible]
新京	[illegible]
東拓	[illegible]
計	[illegible]
前年同期	[illegible]
貸出	[illegible]
中銀總行	[illegible]
鮮銀	[illegible]
正金	[illegible]
中銀支行	[illegible]
滿銀	[illegible]
正隆	[illegible]
新京	[illegible]
計	[illegible]

△鈔票勘定

項目	金額
前年同期	八〇八、九六七
預金	[illegible]
鮮銀	[illegible]
正金	[illegible]
滿銀	[illegible]
正隆	[illegible]
計	[illegible]
前年同期	[illegible]
貸出	[illegible]
鮮銀	[illegible]
正金	[illegible]
中銀總行	[illegible]
滿銀	[illegible]
正隆	[illegible]
計	[illegible]
前年同期	[illegible]

米穀現在高
最終發表

【東京國通】農林省第三次最終發表による一日現在の米穀現在高左の如し

內地現在高　三千七百四十二萬七千七百六十九石
前年同期比較　八百廿四萬九千六十二萬石減即ち一割八分減少

鴨綠江航運の日滿提携成る
鴨渾兩江航業公會の前途明朗

【安東國通】鴨渾兩江航業公會は創立五十年の古き歷史を持つ滿洲國側の小型船舶業者の組合であるが、數年前對岸新義州に鴨綠江運輸會社が設立されて同種の營業に從事する樣になつた結果必然的に兩者は對立抗爭することになつたのでこれが調停は鴨綠江水運統制上の一懸案とされてゐた處、最近安東航政局及び水上警察局の盡力によつて朝鮮側の鴨綠江運輸會社所屬船も又總て滿洲國側の航業公會に加入し兩者は業務の分野を運輸會社は集貨航業公會は航運、通關に協定しこゝに兩者協調提携して國境河川鴨綠江の水運に貢獻することになつた提携前に於る兩者の所屬船數は運輸側九八八、公會側三五〇三である

航業公會は別項の如く內紛を清算し會計制度を確立すると共に近く指導者として航運行政の權威武田虎一氏を迎へる模樣で、これに加へて對外的にはこの運輸會社との提携が成立したのでその前途は明朗なものとなつた

錢鈔先物
十三日受渡高

新京取引所における錢鈔先物(五月十三日限)受渡高は次の通り

國幣對鈔票(單位千圓)

賣方　裕昌源九、益發合一六四、積德泉四九、永豐樂四九、義和公三、大義恆九六、慶豐錢一、會合公一二〇、春發合四一、功信源二〇、計五五二

買方　永衡通四四〇、三泰棧二〇、永合源二、計五五二

鈔票對金票

賣方　東永茂二五、三井二六、益發合四九、積德泉一〇、福順興二、義合公二、巨興錢三、大義公二五、慶豐錢一九、功信源二三、計一八四

買方　恒增利一、三泰棧三〇、永豐興九八、會合公四五、春發合一〇、計一八四

紡聯次期操短擴張に
綿工聯が商工省に陳情

【東京國通】紡績聯合會七月以降の次期操短擴張に對し綿織物工業聯合會は從來屢々据置を要望したにも拘らず、之を無視し擴張したのを不滿として十三日商工省の貿易當局に對し善處方陳情した

前週先物取引高

前週(六月一－十一日)中における新京取引所の先物取引出來高左の如し

鈔票建混保大豆　八三三車、殘玉二一、〇三〇車
同高粱　一〇四車、殘玉三四〇車
鈔票對金票(單位千圓)　一、七四三千圓殘玉一一七三
國幣對鈔票　一、七三三殘玉一、四六七

南陽驛四月中業績

【圖們國通】南陽驛の四月中業績左の如し

乘車人員　一三、三九〇人
降車人員　一一、一二九人
旅客收入　一五、二三八圓二一錢
發送貨物　三九二噸
到着貨物　一、六一〇噸
貨物收入　一、四四八圓八九錢

東邦電力七分据置

【東京國通】東邦電力重役會で七分配當据置と決定した

滿洲生命保險統制問題 (五)

大連　岡本理治

二、友邦人壽保險公司　友邦人壽保險公司は、米國デラウエヤー州の法規により設立されたるものにて、本店を上海に置き北京、漢口、廣州、濟南、天津、重慶、シヤム、香港、福州、杭州、寧波、厦門奉天の十三ケ所に支店を設けてゐる、公稱資本五十萬米弗拂込十二萬五千米弗である

×

當社は支那にて廣汎に火災及び海上保險を營める、かの有名なるアメリカン、アジアテイツク、アンダーライターの子會社にて、其の經營振りは米國保險業法に準據し、手確き行き方を執つてゐる、保險の種類は、終身保險、普通儲蓄保險、三益保險、兒童教育保險等あり、貨幣は、銀兩を本位となせども、契約者の希望によりては、銀元、金磅、米弗其他の貨幣による保險も取扱ふ、尤も保險金と保險料が同一種貨幣なるを要するは勿論である、保險契約高は一九二七年末に一千四百萬弗である一九二七年末に於ける貸借對照表によれば財政狀態頗る健實なるが如し、即ち責任準備金九十五萬弗、特別積立金六萬弗、現金(銀行預金を含む)四十三萬六千弗貸付金三十四萬三千弗、有價證券五十四萬五千弗、保險料純收入十三萬三千弗である、同社が以上の如く普通以上の好成績を擧げつゝあるのは、勿論親會社たるアメリカン、アジアチツク、アンダーライター(美亞水火險總公司)の援助にも依るが、其外同社が支那の教育界に勢力を有し、學校方面に手を擴げてゐるのを見逃せない

三、中國華安合群保壽公司　民國元年農商部の認可を經て設立され、純然たる支那人商の組織に係るものである、資本金は銀百五十萬元、本店所在地は上海靜安寺路、支店は北京、天津を初め國內外百餘ケ所にある保險の種類は死亡、養老、終身、教育年金、結婚事業資金保險の五種である保險金總額は約一千二百萬元、保險料收入八十六萬元、資產約二百萬元である、可成の成績を擧げてゐる

四、東方人壽保險公司　民國九年の設立に係り、資本銀一百萬元(內拂込二十五萬元)にして、三菱合資會社、明治生命保險會社と支那朝野の諸要人との合辦組織にて、支那の公司條例に準據し、日本保險業法の主旨を參酌して成立せしものである、本店を北京に置き、代理店を上海、天津、漢口、大連、奉天青島の三菱支店所在地に置く主なる株主は岩崎小彌太、木村久壽彌太、藤田讓、秋山昱禧、周敦厚堂、江庸、劉垣、吳鼎昌、張省吾、張問潮、周作民、李晉、馮恕、周家彥、陶昌善等である

×

同社の營む保險の種類には、養老、双福、三益、福祿の四種の外に團体保險がある、養老保險は日本に行はるものと大差なきが、双福保險とは、被保險者が中途にて死亡したる際保險金を支拂ふは、養老保險と同一なるが、但(一)保險期間が半數を過ぎたる場合被保險者が死亡せば、所定の保險金以外に一定の贈與金を支給し(二)無事滿期に至る時は、保險金の二倍を支給する、次に三益保險とは、被保險者の死亡に際し、保險金を支拂ふ點及び無事滿期の場合保險金の支給を受くる點は、養老保險と同じきも…只滿期後は何時死亡するとも、其の死亡の際、別に保險金と同額の贈與金を交付する制度である三益の意義は此に在るのである、福祿保險と謂ふのは、被保險者が滿期迄生存したる時保險金を支拂ふ外確定利益として、保險金額一千元に就き二百元を分配し、期間內に死亡したる時は、約款所定の金額を支拂ふものである

此社の新しき試みとして、揭げらるるものに團體保險がある、其れは、同一の雇主に雇傭さるる百人以上の從業者の一團を被保險者とし、保險期間內の死亡者(團体養老保險者)に對し、所定の保險金を支拂ふのである

右に陳べたるものは皆銀勘定生命保險なるが此外に同社は明治生命の代理店として、金勘定による終身、養老、教育資金保險を取扱つてゐる

同社の營業成績は民國十六年十月末に於ける責任準備金五萬五千圓、收入保險料、二萬五千元(養老保險最も多し)總利益金四萬元、貸付金二十八萬六千圓、有價證券三萬六千元である

商況欄
(五月十四日前場)

海外經濟電報 (五月十四日)

品目	相場
倫敦銀塊	三三片二分一
同遠限	三三片八分五
紐育銀塊	七三仙四分三
孟買銀塊	七九留比二分一
スチール株	三三弗〇〇
アナゴンダ株	一五弗四分一
米英爲替	四弗〇〇仙二分一
米日爲替	二八弗八〇仙
米支爲替	四一弗三九仙
英日爲替	一志二片六分九
英支爲替	一志八片二分一
英米爲替	四弗八六仙八分一
印日爲替	七八留比八分三

▲米棉

限月	相場
現物	一二仙二五
五月限	一一仙八二
七月限	一一仙八六
十月限	一一仙八八
十二月限	一一仙九三
一月限	一一仙八〇
三月限	一一仙八一

▲印棉

品目	相場
ブローチ	二四一留比
オームラ	二二〇留比
ベンゴール	一四五留比

▲市俄古小麥

限月	相場
五月限	九一仙八分五
七月限	九二仙二分一
九月限	九三仙八分三

▲カルカツタ麻袋

品目	相場
青筋	二七留比〇〇
鐵筋	二五留比四分一

金銀市況

●上海標金　昨引 七六六、七〇 七六六、〇〇　本寄 七七〇、二〇 七七九、五〇　歩 九一、二〇 八一、五〇 / 八九、五〇 八一、〇〇

●大連金鈔票　現物 寄付 一二九、〇〇　引 一三〇、九五　出來高 四〇万　五月十三日限　寄付 一二九、〇〇　九、一五 九、三〇 九、五〇 九、七〇 九、九〇　一三〇、一〇　出來 不申

●大連鈔票銀大洋　現物 一三〇、〇〇 一三〇、〇五　出來高 四六万　引 一三〇、七〇

●奉天國幣金票　現物 一〇六、〇〇 一〇五、九〇　▲五月廿八日限　寄 九四五、〇〇 引 九四〇、〇〇　出來高 七〇万

●奉天國幣鈔票　現物 ▲五月廿八日限 一三三、七〇 一三三、〇〇

爲替相場

▲上海爲替

▲日本向

回	賣	買
第一回	一四二、七五〇	一四三、二五〇
第二回	一四二、五〇〇	一四三、〇〇〇
第三回	一四三、〇〇〇	一四三、五〇〇
第四回	一四三、二五〇	一四三、七五〇

▲倫敦向　第一回 賣 一志六片三 買 一志六片四分一

▲紐育向　第一回 賣 四〇弗一六分一五 買 四一弗一六分一〇　第二回 賣 四一弗八分一〇 / 第三回 [illegible]

▲大連爲替　▲上海向 一〇八、〇〇〇 一〇九、〇〇〇 / 一〇八、〇〇〇 一〇九、〇〇〇　▲煙台向 一〇五、〇〇〇 一〇八、〇〇〇 / 一〇〇、〇〇〇 一〇九、〇〇〇

▲阪神日米爲替　第一回 賣 二六弗八分五 買 二六弗四分三

▲阪神日英爲替　第一回 賣 一志二片三分三 買 一志二片三分五

●哈爾濱國幣金票　寄 一三三、〇〇 引 一三三、〇五〇　出來高 一七〇万　現物 ▲五月二十八日限 一〇五、二五 六月十二日限 一〇六、四〇 寄 一〇五、一〇 引 一〇六、四〇 出來高 十万

●安東國幣金票　現物 ▲五月廿八日限 一〇六、〇〇 六月十三日限　昨引 出來高 本寄 一〇五、七〇

株式相場

▲大阪株式(短期)

銘柄	寄	引
大新	九二、九〇	九二、二〇
鐘新	一三五、〇〇	一三五、二〇
東新	一四四、四〇	一四五、〇〇
日產	九三、八〇	九三、八〇

▲大連株式(短期)

銘柄	寄	引
五品新	一八、三〇	一八、三〇
豆新	二二、五〇	二三、五〇
錢鈔新	二三、五〇	―
取引所新	二四、五〇	二四、〇〇
滿鐵新	九二、五〇	九二、五〇
滿鐵	六五、〇〇	六五、〇〇
二	二七、二〇	―

▲奉天株式(短期)

銘柄	寄	引
滿取	―	―

商品市況

▲大阪綿糸

限月	寄	引
五月限	二二、四〇	二二、九〇
六月限	二三、五〇	二三、五〇
七月限	二四、四〇	二四、七〇
八月限	二四、〇〇	二四、五〇
九月限	二三、〇〇	二四、五〇
十月限	二一、七〇	二三、五〇
十一月限	二〇、九〇	二一、六〇

▲大阪棉花　當限 六五、三〇 六五、四〇 / 先限 六三、五〇 六三、五〇

▲大阪人絹　當限 五九、一〇 五九、六〇 / 先限 六一、一〇 六一、五〇

▲神戶豆粕

限月	寄	引
五月限	四、四二	四、四五
六月限	四、四三	四、四三
七月限	―	―
八月限	―	―

銘柄	寄	引
東新	一四四、八〇	一四五、一〇
鐘新	一三五、五〇	一三五、〇〇
日產	九三、〇〇	九三、八〇
大新	九三、〇〇	九三、八〇
五品	一八、〇〇	―
豆新	三三、九〇	六五、〇〇
滿鐵	六四、八〇	二七、二〇
二新	二七、三〇	二七、二〇
電甲	一六、八〇	一六、八〇
同乙	一三、七〇	―
東拓	九、三〇	―
東亞	―	三〇、三〇
日晉	六四、五〇	六四、五〇
滿興	一六、〇〇	―
滿毛	―	―
優先	一八、四〇	―

特產市況

●大連大豆

限月	寄	引
袋込	四、七六	四、七二
五月限	四、七二	四、七〇
六月限	四、七七	四、七六
七月限	四、八八	四、八四
八月限	四、九二	四、八九
九月限	四、九一	四、八九

●同豆粕

限月	寄	引
現物	一、四九〇	一、四八五
五月限	一、四九〇	一、四九〇
六月限	―	―
七月限	―	―

●同豆油

限月	寄	引
現物	一四、〇〇	一三、九〇
五月限	―	―

新京取引市所況
(五月十四日前場)

●大豆　現物(一石値段) 定期(混合百斤値段)

限月	寄	引	出來高
現物	―	―	―
五月限	四、一三	四、〇三	十一車
六月限	四、一九	四、一三	十三車
七月限	四、二六	四、三一	一七車
八月限	四、三〇	四、三五	一〇車

●高粱

限月	寄	引
現物	―	―
五月限	―	―
六月限	―	―
七月限	―	―
八月限	―	―

●鈔票對金票　五月二十八日限 六月十三日限　寄 一二九、〇〇 一三〇、一〇　引 一三〇、〇〇 一三〇、五〇　出來高 三万六千 二〇万五千

國幣對鈔票　五月二十八日限 六月十三日限　寄 八一、三六 八一、四四　引 一メ 八一、三二　出來高 三万六千 八万三千

●錢鈔

品目	相場
國幣對金票	一〇六、六〇
鈔票對金票	一三一、四〇
國幣對鈔票	八一、四五
哈大洋對鈔票	一三〇、四〇

新京日日新聞
朝刊
夕朝刊共十二頁

空前のにぎはひ けふ國民慶祝大會
神社の春季大祭と重なつて 新京中は歡喜の渦

皇帝陛下御訪日の盛典を慶祝し大詔の聖訓奉戴して日滿不可分精神一体の兩國永久の基礎を遵定すべき國民慶祝大會はいよ／＼けふ全滿各地一齊に擧行されるが、國都新京においては特別市公署主催の下に午前九時から大同廣場において滿洲國軍隊、官吏、各學校生徒、一般團体および市民參列の下に盛大に擧行される先づ金特別市長の開會の挨拶終るや滿洲國軍樂隊の奏樂裡に五色旗は翩翻と檣頭高く掲げられ、金市長恭々しく詔書を捧讀した後市長の祝辭捧呈の賀表、日本に對する感謝狀等の決議をなし日滿交驩歌の合唱、皇帝の萬壽を三唱して午前十時意義深き慶祝大會を終るはずである、式典終了後御訪日記念体操の披露あり終つて全參列者は軍樂隊を先頭に蜿蜒長蛇の列をなして旗行列に參加自疆街より大經路、二馬路、三馬路、大馬路を經て宮廷府前に至り陛下の萬歳を祈つて散解する、一方民政部前廣場では午後一時から同九時まで演劇および映畫の公開ありけふは新京全市民は慶祝の喜びに溢れ、王道樂土を謳歌して空前の賑ひを呈することであらう

御訪日關係者に 御慰勞の賜宴

御訪日記念國民慶祝大會を明日に控へ宮中に於ては十四日正午御訪日に隨行せる供奉員並に警衛、通信等諸關係者を招き御慰勞の思召に依る賜宴があつた、隨員は沈宮相始め寶尙相、張侍從武官長、遠藤前總務廳長以下多數關係者は日本側より南關東軍司令官以下滿洲國側より鄭國務總理以下多數參內して勅任官及び簡任官以上は勤民樓に於て皇帝陛下の御親臨を仰ぎ奏任官及び薦任官以下は懷遠樓に於て何れも賜餐の光榮に浴した

ピ氏逝去に 御弔電

【東京國通】天皇陛下にはポーランド陸相ピルスズキー氏逝去に對し大統領宛御弔電を御發送遊ばされた

吉田長官 各方面物色中 來週鈴木氏訪問

【東京國通】吉田內閣調査局長官は調査官の詮衡を今週中に完了する方針で鋭意各方面に耳つて適材を得べく物色中であるが、先づ順序として勅任調査官の詮衡を急ぎ之が決定を見たる上に大体の分擔を定め合議の上他の奏任調査官を詮衡する事になつてゐる、而して勅任調査官は內務、大藏、商工、農林、遞信、鐵道の各省より適任者を得る事になるらしく、又奏任調査官には詮衡任用の妙技を發揮すべく民間よりも登用する旨を言明して居り參與或は專門委員には政友からも適任者を詮衡する方針で來週適當の機會に吉田長官は鈴木政友總裁を訪問することゝなつた

調査局の 參與振當て數

【東京國通】吉田調査局長官は十七日初顏合せ前に調査官の顏觸れを決定し度き希望を以て後藤內相以下關係閣僚と本日より打合せを始め來週早々參與の詮衡に着手し今月末全調査局の主要陣容を整へんとして居る、參與三十名中各省次官十二名を除いて十八名の振當ては左の如きものと觀測される
△貴族院 四名
△衆議院 政友二名、民政二名、國同一名、第一控室一名
△財界方面 東京三名、大阪二名、名古屋一名、北九州一名、農業關係一名

けふ神社大祭 昨夜の宵宮祭を前奏に 參拜者で大賑ひ

若葉かをる新京神社の春季大祭は十四日の宵宮祭を前奏としてけふ十五日賑かに執り行はれる、この日午前十時幣白供進使參進して大祭の幕があげられるが例によつて前夜からけふ終日參道に露店が軒を並べ午後に入つて神社初めての御神樂をはじめ相撲、劍道、柔道、大弓等の奉納の催しがあり、始終花火を打揚げて景氣を添へる、けふ一日は何としても氏子一同に取つて快い安息日でもあらう

我大使館設置に對する 駐日公使の昇格 近く行政委員會で正式決定

【南京十四日發國通】日支兩國の大使交換問題に就て支那政府側は未だ何等の意思表示を爲さぬが、外交部方面の消息に依れば政府は既に現駐日公使をその儘昇格するに關する準備を終つたので、最近の行政委員會議にて正式決定の手續きを執つた上日本側と打合せ同時に發表する事に決定したと確聞する
尙支那政府は大使交換に依り日支關係に一轉機を招來するものとの豫想の下に之を機會に領事館の增設、日支通商條約の改訂、經濟合作等の重要諸問題をも連絡交涉すべく各關係機關に命じて研究を進めてゐる

大豆値上りに 北滿特產界活況

【ハルビン國通】ロンドン市場に於ける大豆相場漸騰により北滿大豆の歐洲輸出見込多大となり北滿特產界は俄かに活氣を呈した

日支經濟提携實現に 合辦會社設立か 殷同氏等財界巨頭と會見

【東京國通】目下來朝中の北寧鐵路局長殷同氏及び上海農商銀行總裁蔣方震氏は十三日門野重九郎氏の斡旋で工業クラブで興銀、鮮銀、三井代表者と初顏合を行ひ日支經濟提携に關し隔意なき意見の交換を行つたが席上蔣氏は支那財界は米國の銀政策から大打擊を蒙つて居る、日貨排斥も今や殆んど解決を見てゐるので種々の點から見て兩國の提携が最必要と述べ之に對し日本銀行側も相當突込んで質問をなしたが結局日支の經濟提携は口頭のみでは解決がつかない先づ支那側では金が必要であるが日本も今度の借款は簡單に決するわけにはゆかぬから先づ支那側と供に合辦の會社を創設物々交換なり統制の機關なりにすることが最善の策だと考へてゐるので日支經濟提携を圖つて一種の合辦會社の如きものが實現するのではないかと見られてゐる

“大使館昇格に 反對はしてゐない” 十四日の閣議で林陸相言明

【東京國通】駐支公使館昇格問題に就き軍部側が反對してゐるとの臆測が傳へられてゐるに鑑み林陸相は十四日の閣議席上特に次の如く發言し軍部側の立場を釋明した
今回我支那公使館を大使館に昇格する事に關し軍部側が反對してゐる如く世上傳へられてゐるがこれは眞相ではない、勿論軍部の一部には斯かる意向を有する者もないではなかろうが陸軍全體としては別に反對してゐる譯ではない、尙將來とも對支問題は我國として頗る重大な意義を有する問題だから關係方面で愼重な連絡をとつて行きたい

“支那の親日轉向 信用は出來ぬ” 酒井參謀長歸任の途上語る

【大連國通】參謀長會議出席のため赴京中であつた天津駐屯軍參謀長酒井大佐は歸任の途十四日午前七時廿分入港吉林丸で靑通したが語る
今や日支關係は轉換期に入つたかの如く傳へられ支那側の親日轉向聲明以來日本側外務當局邊りも著しく親支的傾向を帶び經濟的援助だとか大使交換だとか仲々繁盛振りを示して居るやうだが、數十年に亘る日支關係の歷史及び支那の國情等に鑑み今其日支親善なるものの實體を正視再認識せねばならぬ、問題の大使交換は昭和七年の日支會議に於て取極められたもので今更ら之を實行に移さうとする日本の態度は眞意疑はしい、蔣介石の親日政策に或程度の合意を表明するもので餘り感心した話ではないと思ふ元來今回の親日政策とて蔣の機會主義的方便政策の現はれに過ぎないと自分は考へて居る、元々支那の政策は抗日、日貨排斥の連續である、天津に於ける親日系新聞社長暗殺事件等も彼の脅喝的行爲に他ならない、今更蔣の親日轉向などとどうして考へられやう、外務當局邊りが考へるやうに之で日支間の惡感情が一掃されるなどと考へたらそれこそ甘いもんだ、滿洲問題が解決せねば日支關係の正常化は不可能だと重言した嘗ての支那ではないか吾々は飽迄も蔣介石政權の打倒こそ唯一の道だと考へてゐる

防空演習に對し 協和會の活動計畫

滿洲國協和會では民衆指導の建前から防空演習に協力して防空智識の涵養に盡すべく計畫してゐるが、大体左の如き要領を以て行ふ筈

一、工作要領
一、事前工作
1 宣傳ビラ、ポスターを各地區に張附し演習一週間前辯事處員をして貼附せしめる
2 縣參事官、警務指導官と文書連絡を行ふ
3 展覽會場、講演會場を選定設置して一般の智識涵養に努むる
4 防空宣傳委員會を組織して凡有る宣傳方法實行運動に努むる
5 講演會司會並に講演者に斯界の權威者を選定依賴又は紹介に努むる

一、派遣工作
第一日
1 到着後直ちに展覽會場、講演會場の設備を爲す
2 午後五時より防空宣傳委員會を召集し國防デー開催の協議會を開く
第二日
1 午前九時より午後三時迄展覽會場にて入場者への說明に當る
2 午後四時より同六時迄講演を行ふ
3 午後六時より防空に因む映畫の夕を催す
4 退場の際パンフレットを配布する
第三日（六月十三日）
1 展覽會出品物の整理
2 歸京
以上は公主嶺、農安、下九臺窰門方面に於ける工作要領である

米穀現在高（五月一日） 壹千五拾余萬石 ―農林省の第三次發表―

【東京國通】農林省第三次發表＝北海道以下十四地方米穀高は
總計 一〇、五四三千石
前年より 二、六〇〇千石減少
尙三回の發表を合計すれば五月一日現在の全國在米總高左の如し
△內地米 三五、五九四、九九二
前年より 七、九六八、七九九減
△朝鮮米 一、五九八、三三二
前年より 一九四、〇三六減
△臺灣米 二三〇、三八七
前年より 一〇二、六八四減
△外國米 一四、〇一八
前年より 三、五四三減
△合計 三七、四二七、七六九
前年より 八、二四九、〇六三減

十月末迄の 移入見込高 消費、持越高推算

【東京國通】最終發表を基礎として五月一日より十日末迄の需給を推算すれば（供給單位千石）
五月一日現在 三七、四二七
移入見込 朝鮮より 二、六〇〇
臺灣より 三、五〇〇
合計 四三、五二七
△需要輸出移出見込高 一九七
消費見込高 三一、〇〇〇
合計 三一、一九〇
△差引持越高 一二、三三七
尙消費高は稍々過少の見積りなのは本上半期米消費高減少の傾向を辿り居るためである

奉吉兩省に 國立錬金場 ＝產金事業保護助長策＝

滿洲採金會社の統制範圍外の舊奉天省舊吉林省の一部に於る產金事業の保護助長策については豫ねてより實業部に於て考究中であつたが、此の程其の政策の一部として舊奉吉兩省の二個所に國立錬金場を設け群小產金業者の需めに應じ金の分離作業を行ひ採金工業の發展に資することに部議を決定、明年度豫算新規要求の一部に計上し豫算決定次第設立を見る筈である、元來同地方の產金事業は個人の少規模な經營が殆んど大部分を占め完全なる工場を有せずその生產過程に多くの無駄がある現狀に照し國立錬金場の設立は採金增加に寄與する事大と注目せられてゐる

北鐵物資支拂は 滿洲生產品より 大連四企業家エ代表と協議

【大連國通】北鐵讓渡代金物資支拂に關し滿洲生產品の取引に就き駐哈ソ聯通商代表エムヂン氏の來連を機とし、大連商工會議會の斡旋で同氏を中心とする當地企業家の座談會が開かれ席上企業家側より產品より先ず取引すべしとの意見が出た、エ氏は種々實情を聽取した結果大連ヨウ業、大連機械、大連油脂及製油の四會社を見學し、右四社につき生產品種、生產能力、生產コスト等を調査したが別に具体的商談等行はれなかつた、右につき大連機械製作所森川專務は語る
エムヂン氏と會見して生產品種や能力等の質問に答へたのは事實です、滿洲の生產品を先づ第一に引取れとの意見に對しては何等の意思表示なく私共の所でも之を引取りたいと云ふ樣な具体的な話はなかつた

協和會營口分會 臺灣震災義捐金募集

【營口國通】協和會營口分會では今回の臺灣地方震災被害者救濟のため大々的義捐金募集を開始する事になつた

地方事務所 廿日から假廳舍で執務

既報、地方事務所では新築のため十八、九兩日引越しすることになつたが、これがため十八日は午後から休業、廿日から蓬萊町二丁目（高等女學校北側）の假廳舍で執務する

北鐵從業員中 三千余名 引揚ぐ

【ハルビン國通】本國に引揚げるべき元北鐵ソ聯從業員一萬三千名のうち今日迄に引揚げたもの約千名、近く引揚げるもの約三千名である

ソ聯の歐亞連絡 半硬式飛行船使用

【敦賀國通】曩にモスクワ、ウラジホ間歐亞大陸橫斷航空路開設を發表したソヴイエト聯邦は引續き國民航空船を就航せしめる旨發表各國の視聽を聚めてゐる、即ち同區間を四區域に分つて第一區間のモスクワからスーエルドロフスクルに至る間には航空船聚留塔が建設されて居り本年同區間に體積一萬八千五百立方米全長百五米、幅員二十六米のソ聯新國產半硬式飛行船が就航する事になつてゐるが同船は同航路を無着陸で翔破するに充分なる性能を有するものである

聯合防護團の 分團長會議

新京聯合防護團では十六日午後一時半から地方事務所會議室で正副分團長打合會議を開くが、附議事項は左の通り
一、聯合防護團長挨拶、一、正帽の件、一、腕章の件、一、團旗の件、一、團員服裝の件、一、防護團の編成區分及人員表、一、防護團の部署及各班の任務の概要、一、防護團各班の配置要圖

閑語

滿洲國皇帝陛下の御訪日を記念してけふ各地一齊に慶祝大會が開催され當日新京では大同廣場に於ける市民慶祝大會についで旗行列その他の行事が終日つゞくはずだ▼一方附屬地は恰も新京神社の春季大祭で、例によつて神社境內を中心に市中一般大賑ひを見せることであらう▼花はすでに遲いが若葉の西公園はまた格別快い春の日もけふ此頃が絶頂で、いまにカン／＼照りつく夏の訪れも近づいて來るわけだ▼けふから牛乳の値上げが發表された、今まで一本七錢から八錢になつたわけだが、當業者の話によるとこれでも沿線各地に較べて一番安いんだそうだから大した無理もなかりそうだ▼値上の理由は飼料の暴騰でこれとても一昨年あたりに較べては余程の騰貴であり、肯けぬこともないが▼たゞこの際これを見做つて値上の流行など眞つ平御免を蒙りたい

人事往來

▲國崎祐氏（日本生命京城支店長）十三日午後來京國都ホテル投宿
▲渡邊廣文氏（帝國生命祕書）同
▲中村哲夫氏（明治生命秘書）同
▲中村外利男氏（愛國生命秘書）同
▲梶井軍醫監（關東軍々醫部長）十四日午後發奉天へ
▲今中大佐（同測量隊長）同湯崗子へ
▲鈴木主計監（同經理部長）同ハルビンから
▲岡本直次郎氏（シンヂケート銀行團々長）同
▲吉興上將（第二軍管區司令官）同

航空往來

▲西岡喜藏氏（ハルビン大島洋行員）十四日午後ハルビンから
▲稻木八十八氏（新京請負業）同
▲戶川益勇氏（東京）同
▲花田勵藏氏（延吉電業公司圖們支店）同日午前龍井へ
▲長田和義氏（同）同
▲榊谷仙次郎氏（大連）十四日午後ハルビンへ
▲大島清明氏（同）同
▲中村文四郎氏（同）同
▲菰田康明氏（陸軍少佐）ハルビンへ
▲吉田元七氏（新京戶田組員）十四日午後吉林から
▲澁谷三郎氏（陸軍大佐）同奉天から
▲木村利影氏（奉天泰東商行員）午前ハルビンから
▲吉武正男氏（ハルビン滿鐵事務所）同
▲白　清氏（財政部理財司）同
▲古賀勘四郎（佐世保市）同ハルビンへ
▲北村德太郎氏（同）同
▲澤山精八郎氏（新京會社員）同
▲林彥一氏（佐世保市）同

社說

國民慶祝大會の意義と

在滿同胞の覺醒

曠古に輝く滿洲國皇帝陛下御訪日の御盛事を永久に記念し日滿兩國の不可分關係を搖ぎなき礎石の上に築く意義深き國民慶祝大會はけふ十五日、全滿にわたつて大々的に擧行される

◇

滿洲國皇帝陛下には去る四月躬ら日本皇室を御訪問あらせられ、親しく　天皇陛下を始め奉り御皇室の御方々と御交歡遊ばされたほか、日本各地を御巡幸せられて新國家創建以來の日本皇室の御助力並に國民の熱誠なる協力に對し深甚なる感謝の意を表せられた日本朝野を擧げて赤誠籠めた御歡迎は皇帝陛下の御心に深く御印象せられて御歸還後渙發せられた詔書に畏くも三千萬民衆の嚮ふところを諭し給ひ

朕日本天皇陛下ト精神一體ノ如シ、爾衆庶等更ニ當ニ仰イデ此ノ意ヲ休シ友邦ト一德一心以テ兩國永久ノ基礎ヲ奠定シ東方道德ノ眞義ヲ發揚スヘシ

と敎へ給はれたのである、日滿兩國の國礎これより固きはない

◇

滿洲國民はこの有難き聖旨を體し御訪日の深さ〲意義を永へに記念し慶祝するために國民慶祝大會を全國的に擧行することとなつたのである、しかして日滿兩國の緊密親善關係はこゝに一段と飛躍、更に輝しい第一歩を踏み出した譯である、この機會にわれ等の望むものは同胞殊に在滿同胞の對滿認識の刷新である在滿邦人中の一部は未だに滿洲國を日本の一權益と見做し屬國視する者さへある、かゝる「權益思想」は日滿兩國の將來に暗影を投ずる以外の何者でもないことを知らなければならない、滿洲國は日本の生命線であると同時に日本は滿洲國の生命線である、兩國は相互依存關係の上に立つてゐる、されば滿洲國の健全なる發達は日本にとつて絕對的必要事である、滿洲建設は滿洲國自體のためであると同時に日本の將來の發展を決定的なものとする重大なる國策である、かかる意味において日滿兩國の不可分關係が成立し滿洲は日本の生命線であるといひ得るのである

◇

それ故在滿邦人の双肩にかゝる責任は重大である、彼等は九千萬同胞を代表して第一線に立つて滿洲建設に邁進しなくてはならない、日本にある同胞は滿洲國建設完成の日をどんなに待望してゐるであらうか、それを思へば殖民地的氣分に浸り、イージーゴーイングな生活態度をもつて暮してゐる時ではない、あまつさへ日本は非常時局に際會してゐる、危局を克服し同胞を救ひ三千萬民衆と共に安居樂業の新國家を建設する大事業は在滿同胞の努力にまつところが多い、徒に「權益思想」に流れ植民地的氣分に浸つて國策を過つてはならない、意義深き國民慶祝大會に當つて在滿邦人に覺醒を促したい

迫る防空演習と　ラジオ放送計畫

日滿語で全滿に徹底を期す

新京最初の防空演習實施に關聯して防護團を始めあらゆる機關が呼應してその完成を期しつゝあるが、新京放送局のプランは左の如くである

防空思想の普及

一、防空準備ニュース

イ豫定實施期日及期間　五月十五日より月末迄

ロ放送時刻

日本語A週間平日
午後〇時三〇分乃至午後〇時四〇分
午後三時五〇分乃至午後四時
午後八時三〇分乃至午後八時四五分

B日曜祝祭日
午前一一時〇〇分乃至午前一一時一〇分
午後六時二〇分乃至午後六時三〇分

滿洲語A週間平日
午後零時四〇分乃至午後零時五〇分
午後六時二〇分乃至午後六時三〇分
午後八時四五分乃至午後九時

B日曜祝祭日
午前一一時一〇分乃至午前一一時二〇分
午後八時四〇分乃至午後九時

朝鮮語A週間平日
午後四時三〇分乃至午後四時四〇分

B日曜祝祭日
午後九時四〇分乃至午後一〇時

ハ放送資料　宣傳關係諸方面の提供に待つ平日は正午迄、日曜祝祭日は十時迄に電話又は文書にて到達する樣配意され度正確を期するためなるべく「文書」を希望す

備考　放送局アドレス　南廣場、電話三七二〇番　五一〇〇番

ニ放送方法　前揭放送時刻は平常「普通ニュース」を放送する時刻にして一般に比較的期待され居る時間なり、依つて、「本準備ニュース」もその裡に織込めば割合に素直に聽取さるべしと彼存、但場合により別途特別時刻を新設するも一案なるべきが、右新設は出版物宣傳の支援を得ずんば周知徹底期待し難し、御高評を仰ぐ、放送は「一ニュース一回」を常例とするも、本件ニュースに關する限り毎ニュース時刻に繰返し放送するを可とすべきにより、儀その他の期日性に飯かざる限りなるべく繰返し放送す

二、國民防空講座

イ豫定實施期日及期間　五月二十八日乃至五月十日

ロ國語別日取　同一國語二日間連續とし左記による

日本語放送期日　五月二十八日、二十九日　六月一日、二日　五日、六日　九日、十日

▲滿洲語放送期日　五月三十日、三十一日　六月三日、四日　七日、八日

ハ放送時刻及時間　毎午後六時三十分乃至午後七時、三十分間

ニ放送資料及講師　放送事項の取材及編輯は原則を軍の指導に待ち主として防空協會に依賴し、その編輯及放送實務を放送局に於て擔當す

備考　1日曜祝祭日と雖も同樣　2本時刻は平常「講演」に充つる時刻なり

三、國民防空特別講座

イ豫定實施期日及期間　協和會主催近郊八縣移動防空展の開催期日と時刻に對應し新京より送出し、各主催地會場に特設する「公衆用擴聲受信塔」にて參會者に聽取せしむ　依つて期日及時刻は未定、追而協和會と打合せの上決定す

備考　「公衆用擴聲受信裝置」は情報處より各縣公署に一基宛配給し且當地ラヂオ商組合にて相當數獻納の豫定

ロ放送資料及講師　二項國民防空講座に準ず

防空演習に關する宣傳

一、防空演習臨時ニュース

イ豫定實施期日及期間　六月一日より六月十一日迄

ロ放送時刻　第一項「防空思想の普及」一、「防空準備ニュース」の時刻と同樣とす

ハ放送資料　演習目的及必要性を認識せしむる對一般市民各種訓練及防護團準備訓練並に演習實施に關する注意事項の告示等、この資料は軍及防空協會その他演習關係諸方面よりの提供に待つ

二、防空演習講座

第一「防空思想の普及」中二、「國民防空講座」中「日語六月九、十日」「滿語六月七、八日」をこれに充て、部分演習及見學演習に事例を求め直接演習に關する必要なる豫備知識を與ふ

ロ放送時刻は「防空講座」と同樣

三、防空演習想定の發表及解說

イ期日及時刻

日本語　六月十一日午後六時三十分より三十分間

滿洲語　六月十一日午後九時より三十分間

備考　午後九時より一時間は毎日「滿語演藝」あり依つて比較的放送關心の涵養されたる時刻なり

四、移動展覽會場に對する連絡放送

第一「防空思想の普及」三「國民防空特設講座」に聯し、展覽會の進展に應じて適宜取計らふ

五、演習經過の解說及初日成績に關聯する諸注意事項の說示

イ期日及時刻

日本語　六月十二日及十三日午後六時三十分より三十分間

滿洲語　六月十二日及十三日午後九時三十分より三十分間

但當日の演習情況により中斷することあるべし

六、演習成績の講評

イ期日及時刻

日本語　六月十五日午後六時三十分より三十分間

滿洲語　午後六時四十五分より十五分間

ロ放送資料及講師　軍及防空協會に依賴す

演習參與

一、演習公報の定時速報

第一回　午前七時四十分より二十分間（日滿語）

第二回　午後零時三十分より二十分間（日滿語）

第三回　午後六時二十分より十分間（滿語）

第四回　午後八時三十分より十五分間（日語）

但第二回以降の放送は、「普通ニュース及常例滿語政府公報」中に編入す

二、空襲警報、空襲實況及防護實況

イ放送時刻　十二十三の兩日別に時刻を限らず、情況に應じて隨時放送す但空襲及防護實況は想定の發表を待つて大體時刻を豫定す

ロ放送場所　左の場所臨時放送臺を置く

A防空司令部內一箇所

B附屬地及城內適當の場所各一箇所

臨時放送臺は軍及防護團の指示を待ち、その配置を決定す

C豫定位置　附屬地　城內

ハ放送事項　軍幕僚の指導による、但單純なる景觀の實況描寫は適宜の處置を取る

三、空襲警報、燈火管制告知及管制監視並空襲實況

イ、放送時刻　二項イと同樣

ロ放送場所　二項ロと同樣

ハ放送事項　原則は二項ハと同樣燈火管制告知及管制監視を事項として追加す

四、時刻の規正

イ期間六月十三、四日の兩日

ロ規正時刻　毎午前十一時及午後八時三十分

普通放送食出しの場合には右を中繼し放送す

平和か戰爭か（三）

極東は―

英國セシル、マローン中佐所論

滿洲の記者は書いてゐる「我々オーストラリアに在る者は日本の大英帝國並びに合衆國との關係が滿洲に關して惡化するか否か將來について考へ込むわけには行かない、我らにしても合衆國にしても國內の抵抗出來ぬ力によつて最も近い自然な外域に押し出されるのに反對する何の權利があらう、日本の海外に於ける活動が我らにも大英帝國にも決して實際の害をなさぬといふ場合にである」

×

英米の提携は確かに黃色民族の聯合をもたらすであらう支那と日本とを結ばしめ白色民族に對抗せしめるであらうその結果は大英帝國の支那其他に於ける利益に致命的な、影響をもたらすであらう、すでに日本と支那との間にはより親密な近寄り直しの意思表示が行はれてゐる、この場合支那とは必ずしも南京を意味しないのであるが

×

太平洋の將來は支那の再登場を展開せしめる、其によつて四億六千萬の蒼生は次の十年間に西洋文明の域にまで向上するであらう（世界大戰とその後に續いた恐るべき數年をもたらした西洋文明がそれ程熱中して目指さるべき理想であるか否かは論議され得る問題である、しかしそれは此處での問題ではない）

×

若干の人々はゼネヴアから少數の官僚が支那に行つて同國を組織立てることが出來るといふ風に考へる傾きがあるこういふ考へ方をする者は未だ曾つて支那の廣大性その地球上にひろがる範域その含む人口の世界に占める割合、その交通不便などを理解してゐないのである

×

日本は過去の半世紀ほどの間に數代を跳び越したのである外部からの助力が助長し得る限りでは支那に於ける急速な進步は日本が過去五十年間になした發達の經驗によつて多分に日本から來るのである他の諸國何れよりも恐くは他の諸國を合せたものと殆んど同じく全支那に擴大された貿易關係とともに日本の相當多數な人々が現實に今日支那に生き働いてゐる日本は支那の發展に最も大きな影響を持つやう結び付けられてゐるのである

×

これを言ふのは毫も支那に對して敵對する意味ではない單に現實がそうなのである、近代世界の道義は確實に支那を外國の搾取から衞らしむべしとなす、しかしわれらは支那市場の經濟的可能性が太平洋支配のためのヨーロッパとアメリカの資本主義の鬪爭の眞の鍵であることをかくすことは出來ない、だが支那が發達する以上貿易の可能性は其處には萬人に對しての餘地があるほど大である

×

大英帝國にとつても合衆國にとつても日本と友好關係を持つことが最もいいのである英國政府現在の外交政策にいかに缺點があるにせよ、サージョン、サイモンにこの國をかなり多數の有名な人々が明らかに望んでゐるやうには日本との戰爭に引きずり込まなかつたことですべての平和愛好者は感謝していい

×

國際聯盟をして日本が滿洲國から撤退する事を余儀なくされるやう制裁せしめよとあせる諸組織と人々は「制裁」なるものが決して正しくは實現されなかつたことを理解すべきである、聯盟は「計畫部員」を有しない、ザアル問題では諸國が一致し關係兩大國も協定に達したがそれは第一級の海軍國に對して刑罰的海軍力を世界的に組織することとは全く別の問題である

×

日本に對して經濟的制裁を强行することも、太平洋といふ大なる舞台に於いて海軍の行動をとることを意味するそしてこの重荷は英國の肩にかかることを意味するだらう

讀者の聲　【中傷はとらず】氏名住所明記の事

結核花柳病豫防救濟について

昨今兩日（十三、四日）に亘り大連に於て全滿滿鐵病院長會議が十五年振で開かれ、その議題に結核及花柳病豫防救濟に關する事項が提出されてゐることは現下の情勢に鑑み誠に時宜を得てゐる統計の示す所によると在滿邦人の結核罹病者は住民十五名に付一名の割合である、花柳病の罹病狀況に就ては正確な統計がないが刻下の流行狀態は寒心に堪えざるものがあるこの二つの疾患は日本內地に於ても執拗に國民の間に蔓延しこの病の爲めに如何程壯丁の體力を損し死亡率を高めてゐるか量り知れないものがある、之を極言する者は、久しからずして國民活氣の根源枯渇するの懼れありと迄云つてゐるのである、滿洲に於ける罹病率は如上の統計並に事實が示す如く氣候風土並に環境生活の激變に伴ひ日本內地に比し更に高率である、建國創草の今日に於て適當なる豫備策並に施設を講ぜずしては各種民族の協和國家であるだけに憾みを千載に遺すであらう事は火を見るより明かである今次の會議が徹底的な對策を議決することを期待するが、同時にこの議決を議決として終らしめず、爲政當局がその責任として該議決案を實行に移すことを滿洲國のため望んで已まぬ（新京有考士）

獨大使渡鮮

【東京國通】目下九州旅行中のドイツ大使ダルクゼン氏は一兩日中に渡鮮の筈、更に滿洲國視察を爲すと傳へられてゐるが、十三日ドイツ大使館では「ダルクゼン大使今次の旅行は全く私的旅行で九州視察後は朝鮮に渡り金剛山觀賞の上咸鏡南道德源のドイツ人修道院を視察の爲で今月末歸國の豫定なる旨發表した

犯罪豫防と科學搜査に　警保局の陣容整備

【東京國通】政治警察の淨化と犯罪の科學的搜査に依る豫防警察の實現を目的として豫て內務省で準備を進めつゝあつた高等課の廢止並に警保局防犯課に就ては愈々萬般の準備を完了したので十四日高等課廢止に就ては唐澤警保局長の名を以て全國地方長官に其旨通牒を發したが、防犯課新設に就ても十四日附官報を以て告示し本省內防犯課は指紋係、寫眞係、移動警察係、情報係等最尖端を行く科學警察陣を張り豫防と搜査の尖端を行く事となつた

臺灣震災義金に　滿國が二萬圓寄附

【東京國通】滿洲國政府は過般の臺灣震災義金として滿洲國關係で金二萬圓を寄附することに決定、此旨十三日日本政府へ通告して來た

ソ聯の新飛行船建造

【モスクワ十二日發國通】ソヴイエート政府は十二日半硬式飛行船數隻建造計畫を發表した、右半硬式飛行船は主として極東方面の商業航路に使用する筈であるが、休養を行はずして前後十時間滯空の出來る性能を有してゐる

本年度ソ聯派遣將校決定

【東京國通】本年度日本側よりのソ聯派遣將校はソ聯駐在員步兵大尉西村敏雄戰車聯隊附步兵大尉角健之兩大尉と決定した西村大尉は既にモスクワプロレタリア師團に勤務中で角大尉は六月よりリヤーザ師團に勤務のため出發する

タン紙記者　鄭總理訪問

來京中のフランス有力紙タンの主筆デュボスク氏は十四日午前十時鄭國務總理と會見、滿洲國の建國工作につき意見の交換を行つた、同氏は十五日午前十一時南大使と會談、正午は谷參事官主催の午餐會に出席十六日あじあで赴連する筈である

米國庭園クラブ來朝

【東京國通】米國庭園クラブの約廿名の一行は日本庭園研究と日本觀光を兼ねて十三日橫濱着の秩父丸で來朝した、一行は早くも橫濱の三溪園見學に出かけニューグランドで午餐の上、上京の豫定である

商況欄（五月十四日後場）

金銀市況

●上海標金　前引　後寄　歩

●大連金鈔票　現物　寄　引　出來高

●大連鈔票銀大洋　現物　引　出來高

●奉天國幣對金票　現物　寄付　引　出來高

爲替相場

▲上海爲替　▲日本向　第一回　第二回　第三回

▲倫敦向　第一回　第二回　第三回

▲紐育向　第一回　第二回　第三回

▲大連爲替　▲上海向　▲臺灣向

▲阪神日米爲替　第一回　不變

▲阪神日英爲替　第一回　不變

株式相場

▲大連株式（短期）　寄　引

五品　豆新　鈔新　東新　日産新　滿鐵新　二新

▲奉天株式（短期）　寄　引

滿取　東新　鐘新　日新　大新　五品　豆新　電甲　同乙　滿鐵　二新　東拓　東亞　日清　滿毛　滿興　優先

特產市況

●大連大豆　袋込　五月限　六月限　七月限　八月限　九月限

●同豆粕　現物　五月限　六月限　七月限　八月限　九月限

●同豆油　現物　五月限　六月限　七月限　八月限　九月限

●同高粱　現物　五月限　六月限　七月限　八月限　九月限

▲哈爾濱大豆　六月限　七月限　八月限

●同小麥　六月限　七月限　八月限

新京取引所市況（五月十四日後場）

●大豆　現物（一石值段）　定期（混合百斤值段）　寄　引　出來高

現物　五月限　六月限　七月限　八月限

●高粱　現物　五月限　六月限　七月限　八月限　九月限

●鈔票對金票　二十八日限　十三日限　寄　引　出來高

●國幣對鈔票　二十八日限　十三日限　寄　引　出來高

手形交換（十四日）　金票　鈔票　國幣

北滿

"空屋あります"
但しハルビンの話
厖大な維持費に惱まされた 舊北鐵所屬建物始末

【ハルビン支局發】接收はしたものの何分厖大な維持費がかかると云ふので處分案になやみ拔いてゐた舊北鐵所屬の建物中空き家になつてゐた哈市所在のソ聯系諸學校二十三棟はこの程漸く處分方法が決定した

日本側でも哈爾濱中、女學校第二小學校が希望通りソ聯學校校舍をそのまま新校舍として貰ひ受けることとなつた

第二小學校は舊ホルワット中學校舍を、女學校は舊第二中學校舍を、中學校は某舊中學校舍を何れも從來の設備萬端そのまま讓り受けることになり關係者一同ホッと安堵の胸をなで降してゐる

北鐵クラブは、維持費だけでも一ヶ年約十萬圓かかる所から、誰も手を出す者なく鐵路局でいやいや乍ら經營することとなり公會堂として使用される筈である

前督辦李紹庚氏の邸は維持費だけで月二千圓からの大金がかかると云ふので引受手がなく、持余されてゐたが、師團長官舍として關東軍に提供することに決定建坪數一、二二二、七八平方米、邸は樹木鬱蒼として晝尚暗く珍鳥獸類も生棲しようといふ豪勢なものだ

更に滿洲國各機關が從來北鐵から貸借してゐた建物三十ヶ所の財産は殆ど大半を民政部の手で國鐵から北鐵讓渡價格に登記された金額で買受けることになつた

近く蘇聯が滿側に明渡すべき一、七八〇世帶の舍宅と現在滿人從業員が住んでゐる舍宅一八六九世帶は、日滿從業員にそれぞれ平等に分配居住せしめるが、何分維持費が大變なので希望者尠く、その一部を日本軍將校宿舍として關東軍に提供する、それでも空屋が出れば希望者には一般民衆にも賃貸する事になつてゐる

土壇場になつて
引揚げぬソ聯從業員
退職金換算子女年金を楯に 横車を押して頑張る

【ハルビン支局發】舊北鐵從業員は七日までに哈鐵當局が四回の輸送列車を仕立て本國に歸還さしたが、その數僅かに四百九名、殘る一萬九千六百名（家族を含む）の者は退職金の換算と子女年金に妙な理窟を捏ね出したため、輸送に大支障を來たし哈鐵内の蘇聯人引揚委員會では全く當惑し切つてゐる、最初七月一杯で蘇聯人を本國に歸還さす計畫をたててゐたため、土壇場になつて蘇聯の奇怪な態度に面喰ひ再三再四「退職金と子女年金問題は兩國間の外交的折衝に委ね、プログラム通り歸國者は輸送したい」と蘇聯側に交渉したが、蘇聯側ではスラウキー總領事先頭に立つて問題が解決せぬ内は一歩も引揚げる譯にはゆかぬと頑張り對立狀態をつづけてゐる、一方條約による蘇聯人の社宅居住もこの廿三日をもつて滿了する事とて、哈鐵側は協定通り期限とともに社宅の開城を要求するであらうし、二萬人に近い哈市その他全線の北鐵系蘇聯人は何處に住むと云ふのであらう、住居期限日に果して如何なる態度に出るか横車を押して問題解決まで頑張るか、相當小競合を演ずるものと見ねばなるまい

石炭販賣價格 引下げらる

【ハルビン支局發】接收後の北鐵運賃の低減と昨年度のストックが五萬噸殘つてゐるため十日より哈市に於ける石炭販賣價格が左の如く引下げられた

炭名	引下金額
△撫順炭	一噸に付 八十錢
△鶴立炭	同 七十錢
△西安炭	同 五十錢
△子炭	同 五十錢

從前の値段に比するとそれぞれ五分見當の引下げになつてゐる、蓋し台所へのうれしいニュースであらう

移民道場による
若き開拓の使徒達
一鍬々々に精魂の汗にじませ 愉し樂土の建設へ

【ハルビン支局發】奉天からハルビンに移つた滿洲唯一の移民道場たる日本國民高等學校支部の六十名は、ハルビンの郊外、志士の碑近くに實習地五十町歩を市公署から拂下げてもらひ、鍬を下していよいよ開墾のスタートを切つた之に東京の多摩川河畔で養成された更生ルンペンの修錬生滿洲特別移民團員四十名が加はり、明日への希望に燃え、滿洲國民最下層級の生活に安んじ滿蒙移民の礎石たらんと非常なる意氣込のもとに、一鍬々々に精魂の汗をにじましてゐる

この若者達の日課は、朝まだき午前五時三十分鐘の音に起床、六時から七時まで武道の時間、七時十分遙かに皇居に遙拜、七時二十分朝食、八時半より學科および實習を行ひ、正午中食六時夕食、九時禮拜ののち就床…と時計の如く狂ひのない生活ぶりである、五十町歩の實習地に十町歩は野菜、四十町歩には大豆、小麥高粱などを作る、ぢつくり腰を据えさすためにそれぞれ配偶者を求めて獨立さす計畫で、若き曠野の戰士たちは若駒のやうに張り切つてゐる

將來は内地の希望者を收容して花嫁學校も開設されることになるらしい、ハルビンで養成された者は集團移民の増加に伴ひ奥地への先發隊として現地に乘りこます手筈になつてゐるが、哈爾濱でも移民道場は時の問題だけに、各方面に深甚の興味と期待が持たれてゐる

若き戰士に榮光あれ！

圖們の呼應計畫
奥地木材の集散地として
北鮮への進出を企つ

【圖們支局發】灰幕洞より圖們に變りし當時の圖們は一躍にして滿洲國の裏門戸として安東を凌がんとするが如き異常な發展をとげたが昨多滿鐵建設事務所の寧北引越を期として次第に凋落の一路をたどり昨今は昔日の殷賑さはなく僅かに黄金時代の副産物たる建築物が新市街に散在するのみにて圖們華やかなりし頃を知る者をして漫ろ今昔の感にたへしめ榮枯盛衰の都市の姿を目のあたり見せつけてゐるが此行詰れる圖們を救うべく識者間に種々協議が交された結果今回圖們國際運輸支店長原田辰雄氏が東滿奥地の木材作業統一に着眼し圖們をして木材の集散地となすべく其第一次計畫として、木材組合と提携し明月溝、ゴ呀河の木材及豆滿江材を輸送すべき企圖を有しおり是によつて東滿と不離不即の關係ある北鮮の業者も相呼應するか、又財界の雄、三井物産の圖們出張所が大豆の買出しを中止し待機狀態にある今日如何なる方寸に出るかは興味ある問題で、こゝ久しく沈滯せる圖們經濟界に異狀なショックをあたえ此成行は各方面より注目されてゐる

吉林林業協會 組織さる

【吉林國通】新京、吉林、敦化の三木材組合は過般來合同打つて一丸となし、吉林東南地區林業協會を組織し相互の向上發展を期すべく吉林總領事館に出願中のところ漸く認可を得たので愈々積極的活動を開始することになつた

滿鮮視察團 一行來齊

【チチハル國通】文部省主催滿鮮教育視察團森久保團長以下小學校長一行廿七名は、十二日午後四時五十分來齊、教育廳其他機關を歴訪、十三日午後六時四十分洮南に向つた尚一行は南滿方面視察を終へて京城經由歸國の筈である

松花江沿岸 貿易 隆盛豫想さる

【ハルビン國通】松花江下流各埠頭に堆積する荷物は四月末現在の調査によると大豆一六五、七六〇噸、小麥五七、四六〇噸で今夏の沿岸貿易は益々殷盛を極むるものと觀られてゐる

東滿

大田殖産 本格的採金に 着手

【吉林國通】十二日襲來せる紅軍匪を撃退し其後警備の充實に努めつつあつた大田殖産挾皮溝老金廠經營地は目下七十余名現業員が解氷と共に愈々本格的採金に着手し更に同社柏崎取締役は技術者及警備員等五十余名を引率し多量の物資を携帶して十三日午前七時吉林發磐石より樺甸縣を經由して現地に向つた

圖們郵局 電報爲替開始

【圖們國通】圖們郵局に於ける爲替事務は國幣日金を通じて利用者激增し逐日繁忙を加へつつあるが之に附隨して電報爲替事務の取扱開始が要望されるに至り、當局では目下鋭意之が對策を考究してゐるが遲くとも來る六月初旬までには此の電報爲替の開始實現の見込みである

大田殖産經營地 解氷と共に本格的 採金に着手

【吉林國通】先日十二日襲來せる紅軍匪を撃退し其後警備の充實に努めつつあつた大田殖産挾皮溝老金廠經營地は目下七十余名現業員が解氷と共に愈々本格的採金に着手し更に同社柏崎取締役は技術者及警備員等五十余名を引率し多量の物資を携帶して十三日午前七時吉林發磐石より樺甸縣を經由して現地に向つた

南滿

圖們青年團 團旗推戴式

【圖們國通】圖們青年團では豫て調製中の團旗が出來上つたので之が推戴式を十二日午前七時より圖們神社々前に於て擧行同夜六時より圖們小學校に於て顧問、贊助員を招待して春季總會を開催した

戰區保安隊
移動順調に行はる

【奉天國通】停戰協定違反も關東軍及天津軍の頑强なる抗議によつて漸く反省し新保安隊の編成を五千名に縮少し十日より新輸送計畫により第二總隊長張硯田部隊は新派地に就いた、即ち第一次列車は十日午後五時滄州出發十一日午前四時留守營に到着後海洋鎭に向ひ、第二列車は十日午後七時滄州發十一日午前七時留守營に到着、下車の後撫寧に向つた第三、四、五、六、七次輸送により夫々龍廣、遷安、胥各莊の三屯營等に配備せらるゝ豫定である、其他の新保安隊の交替も十日より二週間以内に完了する豫定である

なほ協和會視察團、訪日記者、童子團、運動選手等の日本觀察談等の講演あり、市内には學生諸團體の旗行列提灯行列が行はれ、夜に入つては映畫會を催し皇帝御訪日ニュース「新生の榮光」其他を上映、日滿交驩の意義を徹底せしめる事となつてゐる

軍隊出身の 路警巡長募集

【奉天國通】鐵路總局では警備の充實を圖る爲軍隊出身の路警巡長を左記要綱により募集することゝなつた

一、應募資格 高等小學又は中等を卒業し一年以上軍隊教育を受けたる數へ年廿八以下（曹長卅歳迄）
一、願書受付 奉天受驗者五月廿三日正午、大連、新京、圖們、牡丹江、ハルビン受驗者五月廿九日正午
一、試驗及び場所 奉天五月廿六日、大連六月二日、新京六月五日、圖們六月九日、牡丹江六月十二日、ハルビン六月十六日

永見大佐 來承

【承德國通】來年一月熱河西境に於て不法越境の宋哲元軍を蹴散し勇名を轟かした永見大佐（現軍政部高級顧問）は熱河視察の爲め飛行機にて十三日午后零時三十分來承、日滿軍各機關の熱誠なる歡迎裡に宿舍承德ホテルに入つたが在承各部隊視察の上十五日飛行機にて烏丹城、赤峰經由歸京の豫定である

祖父江憲兵 分隊長離承

【承德國通】昭和八年六月赴任以來最前線承德にあつて警備治安工作に盡瘁せる承德憲兵分隊長祖父江憲兵少佐は憲兵練習所入學のため東京へ派遣される事となり、十三日午後一時日滿軍官民多數の盛大なる見送り裡に自動車にて離承した

けふ盛大に 承德慶祝大會

【承德國通】日滿兩皇室御交驩の歴史的曠古の御盛儀を廣く國民に徹底せしめ併せて日本朝野の熱誠なる好意に對し感謝と敬意を表する爲め熱河省に於ても省公署主體となり五月十五日午前十時より省公署構内に於て皇帝陛下御還幸國民慶祝大會を開催する事となつた

同慶祝大會に於ては省公署外日滿各機關代表者民間代表參列し皇帝陛下に賀表捧呈、日本朝野に對する感謝文を決議し日滿交驩歌を合唱し慶祝裡に移る筈で、此の他皇帝陛下御訪日を機會に日本を見學せ

消防ポンプ タクシーと衝突

【大連國通】十三日午前十一時頃譚家屯裏山が山火事だとの報告を受けた大連小崗子消防出張所では自動車ポンプ一臺現場に向け急行中法院前より電車通りを横斷せんとした刹那疾走して來た市内寛町一四九大正タクシー曹江力雄（三一）の運轉するタクシーがポンプ車の後部に衝突しポンプ車は顚覆し乘車してゐた消防手は路上に投げ出され一名瀕死の重傷を負ひ五名輕傷車體は大破しタクシー側も乘客一名胸部に全治十日間の打撲傷を負つた

大連の 海軍記念日 海軍關係者協議

【大連國通】來る廿七日は日本海々戰の卅周年海軍記念日に當り大連では盛大な記念催しを行ふべく種々研究中であるが十四日午後一時より海軍關係團體代表者、滿鐵、各學校代表者及び當日大連に入港する驅逐艦薄艦長等の出席を求め、最後の打合せ會を開くことゝなつた

全國輸出組合の 建議陳情案 各大臣に送達

【大阪國通】去る三月十九日廿一日兩日開催された第一回全國輸出組合總會の建議及び陳情案に就ては其の後大阪、東京、横濱、神戸、名古屋の各輸出組合聯合會で補足修正の結果、此程最後的決定を見たので愈々十三日外務、内務、拓務、農林、商工、遞信、大藏各大臣及び對滿事務局總裁宛發送した

△建議案
一、全國輸出組合中央會設置の件
二、輸出組合と工業組合との連繋に關する件
三、輸出組合の統制强化に關する件
四、貿易行政機關の統一に關する件
五、商名別輸出組合と市場別輸出組合との市場分野並に綜合連絡に關する件
六、朝鮮、臺灣に對し内地同樣輸出組合法適用に關する件
七、滿洲國輸入關税引下げに關する件他五件

△陳情案
一、本邦爲替銀行の海外支店出張所增設の件
二、海外電報料金輕減に關する件他三件

尚建議案中第一、第二、第五の三件は既に商工省で審議中で近く實現を見る筈である

四月中 大連輸入貨物

【大連國通】大連埠頭輸入係調査に依れば四月中輸入貨物總噸數は二六四、二八三噸で前月に比し稍々歡調を呈し一〇、一〇九噸、約三分六厘の減少を見せてゐるが前年同月に比しては三九、七七七噸約一割八分の増加を示してゐる

新しい生活の設計

夏季時間（サンマータイム）の話（下）

滿洲は實施の最適地です　今夏は是非實行しませう

▼……サンマータイムとは夏季の間だけ全部の時計を一時間進ませて、その時計によつて全ての社會生活を營むといふ制度ですが、時計を進ませないで一時間早く起きたらいゝじゃないとかいふ人もありますが、秋から春まで毎朝七時に起きてゐた人が夏になつて急に

六時に

起きるといふことは氣持の上から苦痛なことですこゝがサンマータイムのねらい所です、ある一定した日に例へば六月一日の眞夜中に滿洲中の時計を一齊に一時間針を進めれば初めの二、三日は時計が一時間進められてゐることを意識して暮しますが、慣れるに從つて完全に時計の支配を受け平氣になつてしまひます會社などで夏だけ出勤時間を一時間早くするよりこの時間制を採用すれば何でもないことゝなります、つまりサンマータイムは夏の自然に對して一番合理的な生活方法であるといふことになります

▼……かやうに意識しないで夏中毎朝一時間早く起きて新鮮な空氣を呼吸し朝の日光に當つて一時間だけ早く仕事にかゝり一時早く仕事を終ふことは實に

愉快て

あり仕事の能率を增進することになります、早く仕事を仕舞つて日光を浴びながら戶外運動をすることも出來るし家族連れで散步することも出來ます、特に滿洲では冬の間蟄居生活のやうな不健康的な生活をしてゐる土地では體力を鍛へ抵抗力を養ふために夏を健康的に暮す必要があります、いま滿洲の夏の日の出日沒時間を調べると六月、七月、八月の三ケ月は日の出は大体午前四時半日の入り午後七時過ぎですからサンマータイムを實施するのに大變好適な土地ですこのやうにサンマータイムが衞生的にも

經濟的

にも非常に良い夏の時間制でありますがたゞ官廳、會社學校だけこの制度を實施しただけではその効果は期せられません、鐵道もバスも商店も食堂も映畫館も家庭の婦人社會全體の人口が一緒になつて充分この制度を理解し實現するやうにつとめなければ結局良い結果は生れません、早く皆さんの努力で滿洲にもサンマータイムを實現し度いものです

花をお買ひになる時は　こんな注意が大切

—永持させる方法は？—

花を買はうと店頭に立つ時、先づどんな花が新しいか、古いかを見分けるに迷ひます、例へばバラはどなたも蕾を蕾をと言ひますが、どれでも蕾であれば開くかと云ひますとさうではありません、全然開かないのと、開くのとがあります、どういふのが良いのかと云ひますと、蕾の先が一寸ほぐれかかつたのが開くので先がキリッとねぢれて、尖つたのは全然開きません、この點によく御注意して下さい、花の新しい古いを知るには、葉の活々した、艶々しいのが良く、又、永持がします、カアネーションはガクを一寸指だけで押へて固いのは新しく、持ちが良く、反對に軟かいのは古く持ちも惡いものです

次に折角買つた花を、どういふ風にして永持ちさせるかと申しますと買つて歸つて、一寸根本を切つて水揚げをよくします、毎朝水を取り替へ、その度毎に莖の根本を少し切り上げて活ける樣にします、根本は絕對に乾かさぬ事、木物は別として一般の切花は、太陽の光線や、風にあたる事は壽命を短かくします、殊に、溫室物は風にあてないで下さい、若し非常に花が萎れました時は、莖の根本を切り上げ、新聞紙に包んで、花器の中に入れるか又霧をかけて、土間に横にねかして、數時間置くと、元通り立派な花に返ります

家庭

朗らか小父さん

1

ジヨン様ノ帽子ヲモッテ参リマシタ

オ留守中ダカラ私ガ受取ッテ置イテヤラウ

へ……サンザン探シマシタヨ

2

伯父サンノ目ニツク所ヘ置イテヤラウ

3

コレハイケナイ コレハ伯父サンノ帽子ダカラダメ!!

ワーン

4

帽子函ヲイヂラウト言フノダ。困ッタ坊ダ

イヽヂヤナイノ？ コワシサシナケリヤ……

科學日本

新たに作られる長距離用飛行機　世界記錄を破つて　一萬二千粁を一飛びに

皆さん！今度東京帝國大學の航空研究所で、いよいよ長距離の世界記錄を破らうといふ飛行機が作られることになりました。現在の

『長距離』飛行の世界記錄は、九千百粁ですが、今度新たに出來る飛行機は一萬二千粁を一飛びに飛ばうとするのです、東京を出發して大平洋を横斷し、サンフランシスコを越へてシカゴあたりまで飛ぶのですから、なんとまあ素晴らしい計畫ではありませんか

×　×　×

航空研究所內には、飛行機部、發動機部、風洞部、材料部、化學部、測器部等があつて、絕えず澤山の人々が飛行機の進歩發達の爲めに研究してゐます

この新しい飛行機は、丁度滑空機（グライダー）のやうに翼の細長い、胴體の細い見るからに

『流線型』の美しい飛行機で、翼幅廿八米翼面積九十平方米といふ、大きい低翼單葉です、重さは自重が三噸半、これにガソリンを滿載すると九噸にもなります、發動機は八百馬力の重油發動機で平均時速百八十粁で、一萬二千粁を七十時間で飛ぶ豫定です、胴體は強くて輕い合金で作られる筈です、翼も主なる材料は矢張り合金で、桁を一本しか持つてゐない特殊な構造になつてゐます、七千リットル、重量五噸半のガソリンを入れるタンクは、すつかり翼の中に入つてゐて、離陸後には脚を翼の中に引込み、操縱席も完全に胴體の中に引下げて、流線型を破らないやうに注意が拂はれてゐます

『發動機』にも、色々新しい考案が取入れられる筈ですが、冷却器は特殊の化合物の液體を使つて、普通の冷却器の三分の一の大きさのもので充分なのです

プロペラは、最近の優秀な飛行機がみんな採用してゐる、短かい距離で早く離陸が出來る、可變プロペラといふのが採用されます

これによつて、滿載の場合でも、千三、四百米の滑走で、離陸が出來るさうです

×　×　×

『乘員は』僅に二人で一萬二千粁の遠い距離を三晝夜にわたつて、殆んど不眠不休で飛ばさねばならないので、研究所で作つた、自働操縱裝置が積みこまれるさうです

この長距離用飛行機の製作費豫算は、二十四萬圓で遲くとも明年の昭和十一年三月頃までには、完成する豫定だといふことです

◇新映畫紹介◇

或る夜の出來ごと　＝コロンビア映畫＝

フランク、キヤプラがロバート、リスキンの脚本を得て美事にも作り出した逸品である、快い笑ひと流麗なリズムに乘つて映畫的感覺の世界が繰り展げられる、これは大人のお伽噺と稱せられてもいゝ、そんな內容ながらトーキーとしての完璧なものをもつてゐる一篇だ、主演はクローデット、コルベールとクラーク、ゲーブル、近く帝都キネマ上映

女性の起死回生藥

性ホルモンは「どんな病氣に效くか」

我々の身体の內にある色々な臟器は大抵內分泌作用と外分泌作用の二つの機能をなしつつあるものであります、例へば唾液とか胃液とか云ふやうなものは外分泌に屬すべきもので、內分泌するものは直接血液の內に入つて身體を循環し、夫れ〴〵其の機能をするのであります、此の性分を我々は

ホルモン

と云つて居ります、此のホルモンに就いては學者に依り種々研究されて居りますが、其の內でも性的方面に關係したものが最も早くから注目され、殊に女性の性的ホルモンを分泌する主なる臟器としての卵巢に就いては早くから動物實驗を試みたり、或ひは其のホルモンを動物の臟器から抽出して之を治療上に應用されつつあるのであります、このホルモン劑なるものは如何なる疾病に用ひらるるかと云ふに、大體、一、種々なる月經障碍（無月經、月經過少、月經移發症、月經困難）二、不姙症、三、子宮發育不全症、四、缺落症狀、五、不感症、六、脂肪過多症、七、皮膚の角質、硬化症、八、乳汁分泌過少症、九、早期老衰等であります、其處で此の

ホルモン

なるものを集めて製劑とするには如何なる方法をとるかと云ふに、普通健康なる若き動物の臟器或ひは青年婦人又は姙婦等の尿中からも種々なる化學的操作を經て、他の物質の凡てをホルモン丈げを抽出して之を藥劑とするのであります、斯うして製劑されたホルモンが先に列記した如き疾病に對し用ゐるときは月經不順の者は追々正調となり、經量も增して不姙症及び子宮發育不全を治療するには全く此のホルモン劑の力をかりるより他に方法はないので積極的に之を用ひれば其の効果は相當顯著なるものがあります、又、婦人が更年期と云つて四十歲から五十歲頃迄の間に於て閉經に近付く頃になると此のホルモン缺乏の結果、頭痛眩暈肩の凝り或ひは腰、足等が冷え、其の他精神的にも常に堪え難き不快を覺えるものであるが、斯う云ふ場合は此の性的

ホルモン

劑を用ひるのが最も効果があるのであります、其の他婦人の不感症が中年後急に肥滿狀態に陷り性的機能の減退した者に之を用ゆると非常に効果があります、元來此種のホルモン劑は性的の機能を亢進せしむるのみならず全身的に細胞の機能を復活せしむるもので、殊に甲狀腺ホルモンの如きは之を積極的に用ゐると頭髮の白くなつたのも漸々再び黑くならしむることを得ると云ふやうな學者の實驗報告もあり、要するに身體の健康保持の上にも極めて良好なる効果を奏するものであります

學藝

防空講座

防空とは何か？

＝第二講＝

防空の概念

歐洲大戰當時空襲の慘禍を痛切に味つた列が國今日亘萬の經費を惜まず防空施設の實施に寧日なく防空知識の普及と非常災害に處する國民訓練の徹底とに全力を傾注してゐるのも彼等が体驗した慘禍が吾々の想像も及ばない程度のものだつたこと、將來國防の完璧を期する爲には防空第一主義を以て國民を平素から訓練指導して行かねばならないことを如實に物語るものと云ふべきである

今日の航空機の性能威力は歐洲大戰當日のものとは到底比較にはならない、殊に空軍の勢力が微弱で防空施設の不完全な國土に對しては猛威を逞うするのであつて嘗て北鐵問題に關して中、蘇兩國間に物議を生じた際に蘇國空軍の實施せる滿洲里の爆擊、上海事變に於て日軍飛行隊の敢行した空襲、近くは南京政府が廣東政府を威喝した廣東市街に對する爆擊の效果に徴しても直ちに首肯かれることである、又現に國境近くの滿洲國人は國境を越へて飛翔する某國の空軍に極端に脅威を感じてゐる樣な狀態である、尤もこれは空ばかりに限られず滿洲國の商船が再三某國の砲艦に包圍されて致命的な示威をうけたがこれ等から考へて推しても護りを堅くすることが先決問題でなければならないといふことが解るのである

近代戰では爆擊目標を都市又は要地に選ぶと云ふことは當然のことで從來の戰爭では亘萬の財力を費し幾多の犧牲を拂つてやつと終局の目的に達したのであるけれども今日では開戰當初から攻擊を行ひ戰爭最後の目的を貫徹し得るものであるから速かに戰爭を終了させるにも經濟的戰果を收め獲る方法から論じても都市爆擊は將來戰に於て必ず實現するものである

從つて現在の防空は如何に努力しても、敵機は必ず要地の上空に侵入することが可能であることは結論されて居る勿論防空配備をとり防空施設をなせば、無防空地帶の樣には容易に侵入することが出來ないかも知れぬが兎に角侵入し得るものと認められて居る即ち如何に戰鬪機を澤山準備しやうと、高射砲を並べやうが、完全に防空を實施することが不可能であるとの結論から、從來の防空は更に此方面にも相當の着意と研究とを進める必要あるものと思ふ、防空の最大目的は敵機を要地の上空に侵入せしめないことであるが、一度爆彈や瓦斯彈を投下された時の處置、或は燒夷彈を至る所に落され四方八方に火災の起きた時の處置、又は都市の水道が破壊せられたる時の飲料水又は消防用の水を如何にして求むべきかの著意等々、直接敵機に對して云々する防空ではないが之も決して等閑に附すること出來ぬ防空であらねばならぬ特に我が都市の特性として如上の消極的防空に關し諸外國に比し層一層の考慮を必要とするか消極的防空は防護と云ふ二字に依つて總括せられてゐるがつい最近までは防護と謂ふ意義を有する字は無かつたやうに思ふ、此言葉がよく使用せれるやうになつたのは矢張り毒瓦斯が使用せられてからであり、而もその意義が更に尖鋭化されて來たのは防空の諸問題が眞面目に研究されてからであると思ふ

防空に於ける防護は廣汎であつて而も重大である、到底總てを詳細に述べることは固より不可能であるから、其主なることのみに就いて書いて見やうと思ふ

空襲と混亂

佛國のボーチエ中佐も伊國佛國のドウエ少將の言を引用して謂ふて居る通り、玆に一本の木に十羽の鳥が止つて居る鐵砲でその鳥を覘つて其中の一羽を打ち落したらば殘りは何羽であらうかと云ふ問題は一羽も殘らぬと答へるのが當然である、空中から爆彈の御見舞を受けた市民も同一の性質を有する數學の問題であつて、一度空中から爆彈の攻擊を受けて其數の人員が死傷を被つたと假定せば殘の人口は總人口から損害者數を減じた數であると稱することが出來ぬ、勿論上述木の枝に止つた鳥の樣に、全部都市から逃れるとは考へられないとしても、自身の危險、親子供の危險から遠ざからうとする者が澤山生ずることは考へること である、又右のやうな危險な都市に居なくても、衣食住に困らぬ者は戰爭の終るまで其都市を去るであらう、震災の例をとるのは或は不適當かも知れぬが、東京市內の人口があの時期後ずつと減少したことは、大體同一性質を有する都市人口移動を物語るものである

初夏

池田東

昔の戀人から便りが來る
白いユニホームが蒼穹のボールにとびつく
シエパードを連れた女が毎日散步する
十七の女は忍び足に步く

無題

嵐の夜
自分の爪を見詰めてゐると
何だか占師にでもなつたやうだ
しばらく目をつむつて
エイと唸ると電燈が瞬間消えた
暗闇の中で俺は微苦笑してゐた

白の旅行（六）

山村秋夫

その晩、白の姿が見えなかつた。

妻も老母も、二人の女の子も、家の圍りを探し廻つたが見つからなかつた。

『折角遠いところを伴れて來たのに、どこへ行つたんだらうね？』

と妻はがつかりしたやうに言つた。

『馬鹿だね、お前達は―』

と私は笑つた。私には先刻から隣の屋根の方で、しきりにいがみ合つてゐる猫の聲が聞えてゐた。『放つて置けば今に歸つて來るにつきまてるよ』

『さう、ほんとう？』

と、不思議さうに長女が私の顏を見た。私は默つて笑つてゐた。

衆して、夜半ゴト／＼と庭の雨戸を敲いて白は歸つて來た。私が起きて雨戸を繰つてやると、待ち兼ねたやうにして、緣側へ上つて來た。が、雨のあとの庭を步いて來たので、足がひどく汚れてゐた。私は老母を起して、雜巾を持つて來るやうに頼んだ。

『あら、白が歸つて來たかえ、まあ、どこへ行つてゐたんだらうなあ』

さう言ひながら、老母はお勝手から雜巾を持つてやつて來た。私はあとを老母に任せて、その儘寢床へ入つた。

翌朝起きて見ると、白は前脚に大きな疵をしてゐた。昨夜仲間に嚙まれたものに違ひなかつた。

『まあ、こんなに大きな疵をしてねえ』と妻はいたはしさうに言つた。『矢張り猫でも日本の猫の方が強いんですね』

『さうかも知れないね』

と私は氣のない返事をした

『お前もう出るんぢやないよ。日本の猫は強いんだからうか／＼すると咬殺されるよ」

妻は掛口にメンソレータムを塗つてやりながら、そんなことを言つてゐた。

だが、やつぱり夕方になると、白はいつの間にか家の中から姿を消してゐた。

『馬鹿猫ね、またどつかで咬まれて來るんでせうね』

ちぐさは床に入りながら心配さうに言つた

私は隣の部屋で、机に向つて別れて來た北京の友へ手紙を書いてゐた。妻はその傍に座つて、サロンストーブにしきりに炭をついでゐた。

寒いといつても、もうすぐ二月だつた。そこゝの屋根では、しきりに春の猫が騷ぎ立てゝゐた。支那から來たばかりの白が、すぐその晩からそれらの仲間に飛込んで、一緒になつて浮れてゐるのは面白かつた。

『猫の日支親善だよ。戀に國境無しか』

私が獨語のやうに言ふのを聞いて、妻は『ははん』とはじめて合點の行つたやうな顏をした。そして、眩しさうな眼附で、電燈の灯を瞶めてゐた。（完）

―一九三五、四、四―

小說の商品的傾向（下）

L・C・メスフキールド
曾田博譯

その上その小說の賣行きも五千から一萬なければ收入も作家として生活を支え得ない勿論片手間に評論やヂャーナリズムの方面で稼ぐことも出來るがその收入は決して堅實な亦多額のものではあり得ない、倘創作といふことを第一義とすれば專心從事することを必要とする仕事である

儲かる小說を書かねばならぬといふことは所謂人氣作家の弱點を說明するものである

彼等はその爲には商人的心理になることを强ひられるのである、初期に成功し、少しの金でも手に入れた者はそれを如何にして續けるかといふことを苦勞せねばならない、それに前途は遠い・今日批評家に人氣作家に對する態度に媚びふ傾向がないでもない、お互に賞讚し合ふことは結局お互の經濟的根據を安全ならしむるものである、故に批評家は無遠慮な讒謗的な言葉を差控えざるを得ない

斯の如く批評家は紳士的であり、讀者はお上品である、一方人氣作家は年を經るに從つて自然に經費を多く要する作家の晩年期に入ればどんなものを取扱つたら賣れるかも分るし、それのみを專心し只讀者が自分に何時迄も忠實であることを希ふばかりである

大衆の多くは個々の物を鑑別する力を缺いでゐる、而して常に有名な名前に動かされがちである

非常に賣れ行きよい書物が權勢を壇にするのに抗せんとして起つた運動は非常に興味あるものであり、研究する價値を有するものである、この運動は小出版業者ファバー氏を中心として一つの聯盟を形成した、その目的とする所は前途ある若き作家の作品を買ふことを大衆に慫慂せんとするものである、然しこの運動は本を借りずに買へと强ひるものではない、作家に關心を抱かせ樣とすれば先づ本を買はさねばならない、然し乍ら事實に於て讀む者が多いから買ふ者が多いといふ保證は出來ない、何故なれば讀者には借りて讀むといふことが非常に多いからである、この爲に更に「國民書籍評議會」なるものが組織され、その會員の多くは出版業者である、彼等は出版といふ事業に幻滅を感じ、低級なる且文學的良心のない同業者に對して飽く迄對抗せんとするものである、倘彼等は專ら大衆の正しき批判を得んと呼び掛けてゐるのである、今迄に多くの良心的作品の優秀なものが埋れて行つたのを見せつけられて來て奮起したものである、吾人はこの國民書籍評議會が成功する可能性があるかを注視せねばならない

此の評議會の趣意書を見ると具体的事業に就てはつきりした快心が出來てゐない樣である、而してその目標は漠然としてゐる、この運動には教育機關が動員されることが望ましい、各學校に研究會等を設け、良心的作品に對する懸賞募集等も考へられる、目的が多少でも教育的色彩を持つ限り小說のみに限らる可きものであつてはならない、而して大衆の文學的教育に迄進展すべきものであらう

この運動は明かに大事業である、若し安つぽい通俗的な小說や人氣そゝりの傳記より純正の文學的の書籍が選ばれる樣になる爲には大衆の嗜好の徹底的革命を必要とする、この「國民書籍評議會」が成功するには大衆の趣味を向上させる前に作家自身が先づ反省せなければならない、第一に作家の作品が價値あるものとなつて始めて大衆にそれを買ふことを慫慂出來るのである

小出版業者が先づ自分等が希望する作家を獲得すれば「國民書籍評議會」は大出版業者に依つて市場に出されるものより彼等の出版物を買ふ樣に大衆を指導することが出來るのである

斯くして所謂商品小說の影響を覆す運動が遂行されると信ずるものである（終）

涯しなき饒舌

近東綺十郎

作文第十二輯―の小說などについて感想を述べて見たい

▲春寒の記（三宅豐子氏）

これは小說ではなさ相である。それだけ批評をする筋合ひでは無さ相だが、昨年春淺い作文で、氏の作品を讀み、感心したことが未だに殘つてゐるので、一寸言はして貰つた、これは春寒の夜の、物悲しい女人の獨語であらう、私は之を讀む時、どこかの端々が林芙美子女史の作品にふれてゐるのをかんじた、それが私に此の文の感想を書かせる一つの依據となつたのかも知れない、たゞ一口言ひたい、それは言葉の使ひ方である、此の文が所謂都會語と方言との混淆をなして居り、それが砂利を嚙むように口あたりを悪くしてゐるのを感じるのは私一人であらうか

若し此の言葉の混淆かあつてこそ此の一文の光彩を陸離たらしめてゐると言ふことになれば私は無條件にお詫びを言はふ、然し私はここで自分の感想を之一つだけ率直に述べて敢て敬意を表したい

▲旅日記第一頁（島田幸二氏）

島田君が又復活してゐるのを見ることは滿洲へ歸つて來た一つの欣びである。復活したと言つても島田君は依然として、好もしいヂレッタンチストである、私は言ふならば島田君の如き人達の作品は、もつとさらりとしていいと思ふ、所謂夏浴衣の仄かな哀愁の如きものを好みたい、そして今迄島田君は多くそうしたもので成功してゐた。今回のは何か立食宴の折詰の用に無用のものが澤山につめこまれ句切りもない祝辭が續くようなものを感じさせる希くば島田君よ、仄かな憂ひに、しみじみとしたものを書いて下さい、これは非常に獨斷的な感想かも知れないが……。

▲仲間（秋原勝二君）

六十八枚の勞作と言ふ。此の努力に感激をおぼえて、實は途中までよみかけたが、多忙に追ひ廻されてゐる僕には感想を言ふ資格がない氣がしたので、次を期することにした。元來滿洲では長い作品に對する親切な感想をのべてくれる人がゐない眞劍な作品を發表して讃辭はとにかく、攻擊ずらもし得ないのは、それが長い勞作にのみなされるのは、甚だ不快だと私自身思つてゐるので日を改めて言つて見たい。（未完）と言ふのも氣にかゝるが此の物語の樣子だと大分長ひものゝほんの一節の樣子らしく窺はれる。實際言ふと象を許するに耳足の辭は余り弄したくない。全体が出てから正面から批評しても遲くはない、否その時が適當な氣がするのである。敢て此處に言はない理由を表明して野心兒秋原君の邁進を祈つて止まぬ、失禮

迫る新京吉林驛傳マラソン

州内代表選手權を放棄 大會出場の大連軍

匪賊の不安を吹き飛ばすのが目的 この意氣を見よ！

本社並に盛京時報社主催の新京吉林間國道マラソンリレーに大連代表選手の出場は折惡しく來る二十六日開催の州内外對抗陸上競技大會州内豫選會と同日となるため出場困難とされて居たが、大會の性質が單なる体育奬勵の意味からのみでなく、スポーツに依る日滿親善はもとより、一般からは未だ尙ほ匪賊が出現するのではないかとさへ考へられて居る不認識さを他所に蜿蜒百二十粁に亘り坦々たる國道が開通し、此處にマラソンリレーが行はれると言ふ驚異に値する治安工作の完備を物語る有力なる證左を如實に示す本大會に出場する事は、スポーツマンとしても亦考へねばならぬ問題であるとの見地よりして州内代表選手權を棄權して出場する事に決定、昨日選手の詮衡を終り左の如くメムバーが發表された

主將 權泰夏
選手 清水政市、北本健二、村岡正三、富永輝一、三隅一二三、松山祐平、森福忠友、八重樫榮太郎、渡邊逸近藤庄作

上記のメムバーを見るに主將權君は往年ロサンゼルスで開催された萬國オリムピックのマラソンに日本代表選手として出場し健闘した古强者であり、志水君は過般の滿鐵の一萬米にもテープを切つたマラソンランナーであり、北本、森福の二君は昨年のインターミドルで五千米に一、二着を爭つて好記錄を出した新進、三隅君も亦同大會八百米のタイトルを得た俊英である、八重樫、渡邊の兩君に至つては其の戰績は余りにも有名な古豪である、其他村岡、富永、杉山、近藤の諸君は何れも幾多輝く戰史を保持する名譽の健脚である、此の超努級を列ねた大連チームは是が非でも覇權を獲得せんものと選手一同は猛烈な練習を續けて居る練習中の權主將は

『お聞き及びでせうが出場と決定するまでには種々の障害がありましたがスポーツ本來の精神に依り相當無理をして參加する次第で、何んとしても優勝したいと思つて居ります、御覽の通り皆非常な好調にありますから相當自信は持つて居りますが如何なる强敵が現はれるかも知れませんので全員ベストをつくして此の劃期的競技會の第一頁をかざる考へで居ります』と眉宇に自信の程を示し乍ら往訪の記者に語るところがあつた

參加チームのメンバーきまる

勇躍して當日を待つ健脚達

盛京時報社並に本社主催の下に吉林―新京間踏破の壯擧を決行せんとする驛傳大マラソンは、期日の切迫と共に、各地選手の意氣も衝天の慨あり勇躍して決戰の日を待つてゐるが、本日までに新京、奉天、錦州代表出場選手が確定した

新京代表

一區 南屋正仁(新京驛)
二區 大藪寛一(滿鐵)
三區 伊東春藏(市政公署)
四區 友永春雄(大同公司)
五區 猿橋秀夫(保線區)
六區 金壽王(大同報)
七區 鈴木芳吉(市中)
八區 勝村喜雄(大德公司)
九區 金允典(工學院)
十區 本野仁治(新京驛)
補欠 吉本嘉吉 大同公司 有馬藤善 滿鐵
監督 野村茂雄(滿鐵社會係)
主將 本野仁治
應援團長 高橋清輝(滿鐵社會係)

奉天省代表

監督 河村太男(体聯奉天事務局主事)
教練員 鹿延琨 中石十郎 花雲縣
選手 唐國士(故宮博物館) 王懷偉(民聲晩報) 宋鎭國(省立商科) 汪振武(省立農科) 葉正滋(省立一工) 張立武(奉天師範) 劉佩琳(省立農科) 項玉金(省立一初中) 趙福武(省立一工) 曹道儉(奉天美專) 黄玉銘(小南關小學校) 劉文德(省立二初中)

錦州省代表(一萬米記錄)

氏名	記錄
崔鴻賓	四十二分四十秒
徐天波	四十二分五十秒
陳鶴森	四十二分五十五秒
張鳳	四十三分五十五秒
張雲	
劉福元	四十三分十二秒
李文秀	四十三分三十秒
齊恩久	四十四分三秒
劉長賀	四十四分十四秒
張文伯	四十四分卅二秒
斐駿聲	四十四分卅七秒
趙鳳樓	四十四分四十三秒

紅燃ゆる優勝旗 (右)と記錄章(左上)及び參加章(中央下)と優勝メダル(左端)

全滿から續々援助の申込み

尙本大會の優勝チームを飾る鄭總理寄贈の優勝旗並に于上將寄贈の優勝楯も美事に出來上つたので昨夕から日本橋通り新京電業局のショーウヰンドに飾り、一般の觀覽に供することになつたが、本社の此の壯擧に關し全滿各地よりの支持は意想外の熱烈なもので早くも

大連 山葉洋行より胡蝶ハーモニカ四打半、天野洋行より美術置時計一個
奉天 森永製菓より金一封
奉天 わかもと全滿出張所より金一封

の寄贈申込みあり、尙續々後援の申出ある模樣で主催者としても大いに喜び一同張り切つてゐる

今日から猩紅熱注射

新京衛生隊では目下盛んな勢で蔓延してゐる猩紅熱に備える爲十三、十四の兩日消防隊ガレーヂで猩紅熱のテストを行つたが受檢者約三百五十名あり、なほ引續きテストで反應あつた者に對しては第一回注射を十五日、第二回注射を二十九日、第三回注射を來月五日にそれ〴〵午前九時から午後四時まで消防隊で行はれる、なほ衛生隊ではいよ〳〵

鼠算式に增える附屬地の人口

一月間に千人率の膨脹ぶり

融雪期に入り國都新京の諸機關は一齊に活動を開始、毎日新京驛に吐き出される數は物凄い、從つて附屬地の人口も鼠算式に殖へて四月末現在戸數は一萬六百四十二戸人口六萬一千五百三十七名で前月に比べて戸數において二百七十一戸人口一千三百七十九の激增である之を各國別に示すと內地人男子一萬八千三百九十九同女一萬三千九百十八、計三萬二千三百十七名、鮮人男子一千六百六十七、同女子一千七十三、計二千七百四十名、滿人男子二萬一千百七、同女子五千九、計二萬六千百十六名、外人男子百九十六、女子百六十八計三百六十四名、合計男子四萬一千三百六十九女子二萬百六十八である

寫眞は勢揃ひした大連軍

赤痢の流行期も迫つたので例年の通り赤痢豫防錠三千五百個を用意し市民に無料配給してゐるから市民は遠慮なくもらいにゆかれたし

三人强盜一網打盡

本月八日午後八時二十分頃新京東馬路福祿街門牌十六號李育光(三三)方に三人組强盜侵入し留守居の李の妻女を脅迫し國幣十二圓、金指輪二個子供用金首飾一個同金腕輪二個を强奪逃走した犯人につき首都警察廳司法科では極力犯人逮捕につとめたところ城內西四道街に居住する李の妻女の親戚に當る李春陽(二三)があやしと睨み捜査中十三日午後十時頃附屬地平康里錦榮堂に立ち廻つたところを首都警察廳司法科司玉山刑事が逮捕し嚴重取調べの結果共犯王鳳林(二三)と陳起崑(二〇)の兩名を西四道街の自宅で逮捕目下余罪取調べ中

大連の隱れ家で逃避心境を語る

蒙政部內、醜事件の主人公

自己が監督の地位にあるのを奇貨とし職權を惡用して可憐なタイピストの貞操を弄び神聖なるべき官廳を蛇淫の府と化し世の指彈を受けるに至つた元蒙政部某科長大島文人(假名)は事件の發覺と共に去る八日夫人同伴大連の實兄宅に身を寄せた事は既報の通りであるが、今日に立至る迄の彼の

告白 を詳記する事は兎角日系官吏の風紀の弛緩を思はせられる今日、他山の石ともなればと大連郊外の某所にある彼の實兄宅を訪へば、折柄外出中の彼は待つ間程なく歸宅し記者と會見したが、事件發覺以來惱みに惱んだものか面窶れのした彼は差出す既報の本紙を貪る如くに讀了し顔面を蒼白にして訥々として語る澁井三子(假名)が死を選んだ事は自分との關係では決してない、必ず他に原因があると思ふ此事は監察院でも亦上司の方でもよく解つて呉れて居る筈だと極力否定し、更に秋山ミツ(假名)との關係に就ては『同人は蒙政部のタイピスト中の古參者で心易くして居る關係上よく自分の宅へも遊びに來て居たが元來妻は病身の事でもありフトした事からあゝ云ふ結果となつてしまつたのだ、其れも昨年附屬地の某支那料理店で只一度だけ語り合つたにすぎない、然し犯した罪は罪として辭表を上司の下に提出した次第である、尙ほ紙上にある如く自分が事件の發覺を恐れて

秋山 を轉勤させたと云ふのは全く誤傳で本人の希望に依り保護者の承認を得て轉勤させたのだ』『秋山が希望して轉勤したと云ふのは醜い戀の煉獄から脱しやうとして遂まぬ乍らか』との突込んだ記者の問に對して『或はさう云ふ事であつてかも知れない、本人は僕と結婚したい意志を持つて居たやうであるが、妻のある身として、斯る事も出來ないので其の様な考へになつたのかも知れない』『斯る事が一般に知れた以上秋山も當然何等か處分される事と思ふが、彼女の將來に就ては何のやうな考へを持つて居るか』と聞けば『未だ具体的には考へて居ないが兄とも相談して何んとか更生の出來るやうな方法を執る考へで居る、又自分自身も深く罪を悔ひて再び斯る事を繰返す事のないやう心に誓つて居る、全く皆さんに御迷惑をかけ申譯けない事と思つて居る』と口ごもり乍ら語る大島は深く前非を悔ひて居る模樣であつた

大連托兒所

新京支部設立計畫 近く大演藝會を開く

小林太三郎氏經營の大連托兒所は兩三年前から新京支所設立の計畫着々進捗しつゝあるが、經常資金は時々篤志家出演による演藝會を催しその純益を得て之に充てつゝあり、今年も小林氏先頃來京奔走の結果近く大演藝會を開催に決した、篤志出演は川崎大欄兩箏曲師匠の率ゆる令孃團に各尺八の師範が參與するもの、黎明兒童舞踊會の孃さん方、眼先の變つたサロン富士通中の舊劇阿波の鳴戸巡禮歌の段ならびにメイヤ街の新京檢番に屬する、桐壺、一つ家、すみれ、扇芳亭などの美妓連中の舞踊など篤志出演の申込みが多い模樣である

春季大祭奉納射會

新京弓道部では十五日新京神社春季大祭日を祝し午前十一時より神社內射場において奉納射會を開催する事になつた式順は左の通りであるが當日は市內部員以外に吉林、公主嶺等よりも參加者多數ある見込みで盛會が豫想されてゐる

一、卷藁禮射 井上清弘氏
一、吉田流鳴絃四六諸 佐々木助教
一、出場射士全員禮射
一、金的 一、扇的 一、
射劇 一、早賦 一、特的
一、紅白試合 一、納射

發見死体は清水飛行士と判明

【安東國通】既報發見された屍體は十三日新義州飛行場に空輸され清水未亡人同僚等に依つて實檢の結果飛行記念メタルが清水飛行士のものであることが判り右屍體は清水氏と判明したが、今更に日滿航空路最初の犠牲者の悲慘なる最後を目の邊りにして何れも眼をしばたゝいた

紫軍猛練習

滿鐵運動會に

來る六月二日西公園で開催される滿鐵運動會に關し庶務、競技關係者會を十四日地方事務所會議室で開催進行上その他について打合せた、なほ地方部系統の紫軍では左記の通り選手を決定、監督岸上、主將岡兩氏指導の下に直ちに猛練習を開始することになつた

祭禮當日の新京醫院

新京醫院では十五日は新京神社春祭りのため午前十時三十分限りで受附を締めきる

商藝協會發會式

新京の圖案、看板業者一丸となり今回新京商藝協會を設立十五日午後六時三十分から公記飯店にて發會式を兼ね總會を開催する

訂正

本紙十五日附夕刊二面記事見出し巡查の妻……とあるは巡捕の妻、止めにかゝつた巡捕とあるは巡查のいづれも誤りなほ本文中柴野警務主任とあるは柴田の誤記につき訂正

ダーソンレプ

國通園遊會は土地ネオン街の洗錬型どころを集めて、主客ともに愉快に盛大に終つたが、其中で眼についたのは、宮脇情報處氏の胃袋―即ち先生模擬店うどん屋の前で丼を抱へてゐたかと思ふと、ビール片手におでんの蛸の足をぶら下げてゐると言ふ工合で、とに角當日馬食黨の旗頭と言ふ偉觀▲大矢編輯長と來たら顔ほどの大きさの茹蟹を携帶して、彼方で鋏をつつき、こゝで孕子をむしると言ふ調子▲ハテな僞裝蔣介石こと里見御大は何處かと見れば、遙か彼方壽司模擬店の前に、田夫子よろしくのハンチングを乘せた小作りの顔に(痩せてるんではないんだ)微笑の如き皺をたたんでニヤリ〳〵嬉し氣な様子で社員たちの東京音頭を眺める悦入れであつた

鮮魚小賣相場

(十四日)

品名	相場
活鯛	九〇―一五〇
チヌ鯛	三三―一二六
連子鯛	二〇―
小[illegible]	八五―七八
ブリ	三五―一二五
ヒラス	四〇―一三〇
サハラ	三五―二五
サバ	二六
アヂ	三〇―一二
サヨリ	三五―一三
ホーボー	一二―一〇
イカ	四〇―六
クルマエビ	三四―三〇
カニ	一三―一八

女人婆羅門

(百四十)

長田秀雄

西正世志畫

（講談上演映畫化）

默示(二)

相模屋で十日程經つうちに、追手の事は、些しも懸念しないでも濟むやうになつた。

「梅ちゃん、もう大丈夫だよ、鷲郎四郎とお前のお母さんは、脛疵のある身だ。自分の身が怖いから容易にお前を追ひかけては來ますまい。お前の家に泊つた僕がゐなくなり、また肝腎のお前が行方知れず、さだめし今頃は手分をして探して居るには違ひない。しかし自分の身が危いから、表向に探索する事の出來やう筈はない。お前の爲には何より仕合せだ。——そこで、僕は、あと十日もしたら、小田原へ歸るから、お前も同道して、兎にも角にも、惡人共の手を離れた方がよからう。私と一緒に小田原へ來るがいゝ」

それは嬉しい、親切な言葉だつたので、梅子は、涙ぐんで感謝した。

「有難う存じます。何から何まで御迷惑をおかけしまして、濟みません。フランク樣に養はれて居た時代を思ひ出しては、身の因果を歎いて居りましたが、信也樣に救はれてからは、フランク樣と同樣に、有難いやら、勿體ないやら、嬉し涙が溢れます」

梅子は、その夜、感謝に昂ぶる胸を抱いて、どうにも寢つけなかつた。信也も何故か寢苦しい一夜だつた。相寄る魂が互の肉體から離れて、一緒に融合しあつたのか、眠れぬ二人は、二人とも床の中で昂奮してゐた。

「梅ちゃん、未だ眠れないの?」

深夜ぱつちりと目を開けて信也は梅子の寢顏を覗くと、梅子もぱつちりと目を開いて居た。

「えゝ」

「僕は一睡もしなかつたのですよ、何故だか僕は今晩は昂奮して寢られないのです。それは少しの僞り氣もない、純眞な要求から來る昂奮だと思ふのですが、醜い反面のあることを思ふと、醜くまでも此の昂奮から私は醒めなければならないのです——眞夜中に男からこんな事を聞かされて、梅ちゃんは怖ろしくなりやしない?」

「いゝえ」

と、靜かに、すこし顫へながら

「いゝえ、私も今夜は一睡もしないで居りましたの、そして信也樣と私も同じやうな事を考へて居りましたの」

「僕は苦しくなつた。何だか耶平たる何時もの意識が根柢から搖がへされてしまつて、意氣地なしになつて了つたやうだ」

「信也さま、私も心が苦しいのですわ」

「君は、純潔への憧れを持つた永遠の處女でゐなけりやいけない。處女美は、飽まで護つて行くべきだ。僕は、目前の花が僕を寛容し、僕に甘蜜を提供することを許しても、飽まで、花は花として眺めてをりたい。どんなに苦しくとも……」

信也は腹這ひになつてさう言ひ終ると、枕に頭を押しつけた。

「信也さま、女の口からは、云へること、云へないことゝがありますわ——わたしは、何時までも、信也樣のために私の貞操を護つて行きたう御座います」

信也は一層昂奮して、はらはらと涙をこぼしながら、梅子の片手を強く〳〵犇と握つた。

「有難う——梅ちゃんの口からそれだけ聞けば、安心立命を得たわけだ。梅ちゃん、有難う」

「信也さま、私も、嬉しくつて、嬉しくつて」

梅子の双眸も涙で濡れてゐた。

「梅ちゃん」

「信也さま」

この二人の若い同志には、たゞ溢れる熱情を、しつかりと手を握り合ふことによつてのみ表す外に術はなかつた。純潔な思慕によつて結ばれ[illegible]清淨にされ、祝福された二人の戀であつた。處女性と童貞とを守り合つた二人の聖戀であつた。

伊豆名所圖會